第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

政策目標3

良好な環境が広がり快適に暮らせるまち

- 施策3-1 自然との共生社会の推進
- 施策3-2 循環型社会の推進
- 施策3-3 生活排水対策の充実
- 施策3-4 安全でおいしい水の安定供給
- 施策3-5 魅力的な都市空間の創造
- 施策3-6 公共交通体系の充実
- 施策3-7 道路環境の整備

担当課	環境課•産業課			施策3-10	の全指標達成	艾 率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1			12	12	12	12	12
日指す姿	市民・事業者・ボランティア団体の一人一人の取 組により、豊かな自然や快適な生活環境が維持・	達成数	6	7	8	7	0
日担分女	により、豆がな自然や医過な主治環境が維持。 保全されている	達成率	50.0%	58.3%	66.7%	58.3%	0.0%

	休主されている		廷州平	30.070	30.070	00.770	30.070	0.070	J	
									-	
			指標数	3	3	3	3	3		
1 F	以果指標(KPI)		達成数	1	1	1	2	0		
			達成率	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	1	
		基準値	XE/24 1	R3	R4	R5	R6	R7	畄台	担当課
成果	ハ中のツボケカに実みこれて世は		+#/±							ᆲᆖᇠ
指標	ムロの外が打造に可じりにる自用	R1	目標値	17	17	16	16	15	件	
1	1件数	40/15	実績値	35	36	28	12		1.7	環境課
		18件	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以下	
	公害に関する迷惑行為をしないように広	担答を多り	· ·					L がはハオス		ち耂
目標	= 	教守で選り	ノに合せ	守で天心。	90000	、古阴采门	F/NUJ相等	ひるとの)XI)未	25
の	∥慮し、目標値を設定									
考え	<u>ל</u>									
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果	- 一		口抽法							
指標	支援動物の述ぶり何に可じりれる	R1	目標値	26	23	21	18	15	件	
2	一苦情件数	30件	実績値	37	42	36	49			環境課
_		301+	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以下	
□ +m/	i 飼養している愛護動物の適切な管理につ	ルフ広報等						L 唐1. 日輝		心宁
目標	国内民のでいる支援動物の週のなら年にフ	VICIDEIX-	す で地し			CCICA		思し、日信		
し の										
考え										
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果	伊東市森林整備計画に基づき間伐		口抽法							,u
指標	アポリ林州笠浦山画に至して団は	R1	目標値	16.8	18.3		22.1	累計22.8	ha	vii:
3	を行った森林面積(累計)	13.8ha	実績値	18.1	21.7	23.9	27.2		·ia	産業課
3		15.ona	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
口+西/	f 伊東市内の森林において、過去に実施し	た問代面も	·					七字協而拜		5ha/
目標			貝リノナナ	19/1.04	ria (a) Ji	(C/C0), =	十皮切則	人大心田恨	٠.١ ٢	Ji ia/
の	年として見込み、累計22.8haと設定した	こ。								
考え	֓֞֞֞֞֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓									
	1(実績評価)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	たが、苦情	生数は日標値	直を上回った	= _	
									_0	
R	(次年度修正点)・引き続き公害に関する迷惑									-
3	2(実績評価)・飼養している愛護動物の適	切な管理に	ついて広	報等を通じ	た啓発等を	実施したが、	: 苦情件数1	は目標値を上		た。
年	(次年度修正点)・引き続き飼養している愛護	動物の適切	な管理を	するように	、広報等を	通じた啓発	等を実施する	3 。		
度	3 (実績評価) ・R3年度目標の16.8h aを									
	_	LE 0 10.	111461		11 1 +/2 C		IM CIO > C	·		
	(次年度修正点)・特になし									
	1(実 績 評 価)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	たが、苦情の	牛数は目標値	直を上回った	=。	
R	(次年度修正点)・引き続き公害に関する迷惑	行為をしな	いように	、広報等を	通じた啓発	等を実施する	る。			
4	2(実績評価)・飼養している愛護動物の適							は日煙値を h	- M -	<i>f</i> -
年										/C°
2	(次年度修正点)・引き続き飼養している愛護					进しに合充	寺を美肥り	<u> වං</u>		
度	3 (実績評価) • R4年度の目標値18.3haを	上回る21	./haを書	¥備し目標達	[
	(次年度修正点)・令和5年度も継続して整備	を行う。								
	1(実績評価)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	たが、苦情	生数は日標値	直を上回った	= _	
		0.0.0.0.0.0	Z 11 0 C			,C,5 (L)1131	1 3010101011011		_0	
					2V. 66 20. //					
	(次年度修正点)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	、仏報等	を通じた啓	発寺を強化	9 る。				
R	2 (実績評価)・飼養している愛護動物の適	切な管理に	ついてか	報等を通じ	た啓発等を	実施したが、	苦情件数日	は目標値を上		た。
5							_ //3/1 5/10			
	() 原佐佐工士) 一句学しマロス英書書という	LD += 5/10 +	+7 -	I	+1311+=	フと ケケ ナーフム リ・・	+ 7			
年	(次年度修正点) ・飼養している愛護動物の適	別な官埋を	9 9 5 5	に、仏報等	を通じた啓	光寺を強化	9 る。			
度										
	3 (実績評価) ・ 令和5年度の目標値19.8ha	aを上回る2	23.9ha	整備し目標	を達成する	ことができ	た。			
			.,							
	()为年帝校工士()如(生) 一才共享用于一一一	1)/								
	(次年度修正点)・継続して森林整備を行って	U1<.								
	1(実績評価)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	広報等を	通じた啓発	等を実施し	てきたこと	が、実を結ん	ん だ。		
		3.5.6						. = 0		
	(原在连接工具) (大唐) (明十字) (±1,	31-4-/	++-	13 11 + = 52	/// /	7			
	(次年度修正点)・公害に関する迷惑行為をし	ないように	、引き続	さム報等を	迪した啓発	寺を実施する	ි			
R	2 (実績評価)・飼養している愛護動物の適	切な管理に	ついてか	報等を通じ	て啓発等を	実施したが、	苦情件数日	は目標値を上		た。
6							_ //3/1 5/10			
	()	×1	□=# ∓ ++L	↑		シエチャー	71. / 1	+1- +	++ <i>-</i> -	×1
年	(次年度修正点)・広報いとうや市HPにて飼育						CUICEE	・もに、古情	刈家t	ョにン
度	いては、熱海保健所と連携し									
	3 (実績評価) ・ 令和6年度の目標値22.1ha	aを上回る2	27.2ha	を整備し日標	を達成する	ことができ	た。			
	()内圧症(校工上) (別は1. アネ++ 恵はナケ ア	11/								
	(次年度修正点)・継続して森林整備を行って	V1<.								

					指標数	9	9	9	9	9		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	主な内容(4桁=	コード)	達成数	5	6	7	5	0		・主な内 の達成状
					達成率	55.6%	66.7%	77.8%	55.6%	0.0%	況	
					指標数	1	1	1	1	1		
(01	Ⅰ 快適な生活環境の確係	₹	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		騒音・振動・悪臭・野焼 き等や愛護動物の不適切		R1	目標値	3	3	4	4	5	件	
	0.	101 な飼育に係る市民への指	啓発のための 広報件数	3件	実績値	4	5	5	5			環境課
	導及び未然防止のための 啓発活動の実施 3件 評価 ②達成 ②達成 ②達成 ②以上											
	R 0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。 3											
年度評	R 0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。											
(評価	R 0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。											
	R 6	0101 広報による公害及び愛	愛護動物の不適切な	飼育を防止	する啓発	終活動を実施	し、公害及	び愛護動物	の不適切な節	詞育の防止(こ努め	た。

					指標数		3	3	3	3	3		
	02	愛護動物の適正飼育の	の推進	達成状況	達成数		2	2	2	2	0		
					達成率		7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R	3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		。 愛護動物の適正な飼育		R1	目標値		1	1	1	2	2	件	
	02	201 党践動物の過止は関目	広報件数	1件	実績値		2	2	2	2			環境課
		,3,2,0,0			評価	O ì	達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		200 狂犬病予防注射の接種	狂犬病予防注射の	R1	目標値		1	1	1	1	1		
	02	202 指導	未接種者への督促	1 🗇	実績値		1	1	1	1			環境課
		,,,	ハガキ発送回数		評価	O ì	達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
			飼い主のいない猫	R1	目標値		85	89	93	97	100	件	
	02		の去勢・不妊等手	38件	実績値		75	66	61	64		_ ''	環境課
		対する補助金の交付	術補助金交付件数		評価				× 未達成	× 未達成		以上	
		0201 愛護動物の適正な飼育	育方法の啓発を実施	し、愛護動	物の適]	こな飼育	育をす	るように努	めた。				
		P 0202 紅土底る防冷射土控係者への数厚いガモ笠に上の控係変向上に数めた											
		R 0202 狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努めた。											
	3												
		0203 513 続き 仏教 いこう 引	手により向知合用を	夫肔し、則	ル土の	1/2/13	田の業	旭 を防止9	acc c.	生冶塚児(0)	床王を図る。		
		0201 愛護動物の適正な飼育	会方はの改発を宝体	1. 磁罐制	物の済み	た命え	今たさ	ストカに奴	いかた				
		○201 友長動物の旭正は閉門		し、友岐玖	かりくりだるH	_'A\E91	309	30 JC J	هے/رقار				
	R	0202 狂犬病予防注射未接種	重者への督促ハガキ	等により接	種 率 向 ト	- に努	めた。						
	4		± 1 (0) 1 (0) 1	01000	(1±+1-)-1	_	ارده						
年		0203 広報いとう等により周	周知啓発を実施した	が、日標を	達成でき	なか	った。	今後、広報	いとう以外	にも、メー	ルマガジンヤ	2SNS	S等を活
		用した周知方法を検討	すしていく。							,			- 5
庹		0201 愛護動物の適正な飼育	育方法の啓発を実施	し、愛護動	物の適正	を飼	育をす	るように努	めた。				
تحرا													
	R	O2O2 狂犬病予防注射未接種	重者への督促ハガキ	等により接	種率向上	に努	めた。						
副	5												
		0203 広報いとう等による周	周知啓発や去勢・不	妊手術に対	する補助	金の	要綱の	改正を実施	し、飼い主	のいない猫	の繁殖を防止	上する	こと
/==		で、生活環境の保全を					引き続	き、広報い	とつ等によ	る効果的な	周知啓発を5	蛍化し	、飼い
佃	<u>'</u>	主のいない猫の繁殖を					なた →	フトミーか	14t				
		0201 愛護動物の適正な飼育	ョル広い合光で夫他	し、发暖製	」かりひり返り	一心即	ョセ9	るように劣	ارلانات				
	R	0202 狂犬病予防注射未接移	まさんの怒促ハガセ	等により控	: 插 玄 向 F	- (二 奴)	カ た						
	6	してして。江八州コノ川上が木技門	まし、の目にバカイ	すにひり技	(1로푸)UJ	ニに力り	مار <u>د</u>						
		0203 広報いとう等により初	載助制度の周知を宝	施したが	日標を選	を成で	きなか	った。今後	は、補助率	など、制度	内容の見直し	ヶ左行	うこと
		で、補助制度を活用し						- /C0 / D		J (1,3/3¢)	3 C 4770 C (13	

						指標数		4	4		4		4	4]	
()3	3 森林	林環境整備の促進		達成状況	達成数		2	2		3		2	0	1	
						達成率	5	50.0%	50.0%	7	75.0%	5	50.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値			R3	R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		杰	林環境譲与税を活用	森林現地調査実施	R2	目標値		25	25		25		25	25	ha	
	0		た森林整備の促進	林州坑地湖直天池 面積	23.8ha	実績値		33.9	5		29.23		6			産業課
			7C-INTT EMISTS ICAC			評価	0	達成	× 未達成			X	未達成		以上	
	_			民間団体による森	R2	目標値		25	25		25		25	25	ha	
	O:	302 森	林保全活動の支援	林整備面積	25.6ha	実績値		11.7	9.9		9.9		0.31			産業課
							×		× 未達成	_	未達成	×	未達成		以上	
	_	-		森の力再生事業整	R2	目標値		1.0	1.0		1.0		1.0	1.0	ha	AUK = CD
	O:	303 森	の力再生事業の促進	備面積	1.47ha	実績値		0	1.86	_	18.72	_	7.68		15.1.1	産業課
						評価	X	未達成	〇 達成	0	達成	0	達成		以上	
	_	20.4 ++	光に広ったおの沿ル	森林整備に係る事	R1	目標値		3	3		3		3	3		
	O.	304 M	業に係る広報の強化	業等についてHP 更新回数	1 🗆	実績値		3	3		3	_	3		15.1.1	産業課
		0004	R3年度目標の25h	24) たあ/	評価		達成	○ 達成	D	達成	0	達成		以上	
		0301	R3年度目標の25 N	a&⊥ <u></u> □633. 9	Jnaを登1	用し達队.	,	14年度1	ら継続して		を付つ(_ () 1	` •			
		0303	本林所有老幼地域介質	2竿が換力して赤林	の右する料	総た登録	E ->	け スたか	の但会活動	hΛT	ロ幺日ノー ささ	1.7	古垤1.#	こが口 煙 法日	ti-14	・至らた
0302 森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動の取組に対して支援したが目標達成 R かった。									XICIO	、主りは						
	3	0303	森の力再生事業を中心	いに整備を進めてい	く中で、世	域住民な	り森	林ボラン	ティアと協	婦し	た市民	参加	の森づく	くりの推進に	- 努め	たが日
		0000	標達成には至らなかっ		\)->(III)	ylak	11111122) I) C	٠ دبدا در	3701-20	<i>-</i> 7.51	300/14/12	() () (E		,,,,,,,
		0304	目標数値である3回更	新を行った。R4年	F度も継続	して更新	して	ていく。								
		0301	現地調査候補地を策算						策定した約	課、	目標数	値て	である25	haを下回る	S結果	となっ
			た。令和5年度は調査				_	-								
		0302	令和3年度以降、活動		が減少して	いるため	目	標数値に	至らなかっ	たた	び、今後	も栽	林保全流	5動に取り約	且んて	いる民
	R	0000	間団体に対して支援し		*****	1 	15.	^ TO E 5	- 							
年	4	0303	目標数値である1haを	を上回る1.86haを	整備をし	標を達成	又、	令和5年		ノて1	コンてい	< 。				
		0204	目標数値である3回見	5年を行った 今刊	5 年度七剑	はしてす	ラ立に	1 アハノ								
		0304	日信数値である3回5	芝利を付つた。 7仙	5年及も総	がしてす	ミ和	CUIC	0							
度		0301	令和6年度以降の森林		ろうえで	森林 整備	方名	計を重新	L.優先度σ	高い		う敷	備するこ	ナとしてお	30	会和6
		0001	年度から3か年かける	て整備する箇所の現	かったこく 地調査を行	でに結果	≦ `	目標を達	成した。	,I⇔i ∧	144111175 .	J <u></u>	IM 9 OC			13/100
0302 昨年と同様、活動団体が減少しているため目標数値に至らなかったが、今後も森林保全活動に取り組んでいる民間団体に対し									して支							
評	R	0002	援していきたい。	113 11/12 3 20 13/12		1015	,,,	<i>372.</i> 3 () IX 0/// I	11/15	_,,,_	-1/ -	, WIII 0 C 0	.004	110/15	
計	5	0303	目標値を大きく上回る	318.72haを整備し	ノ目標を達成	或した。:	継続	もして行っ	っていく。							
		0304	目標値である3回更新	で行った。継続して	て更新して	いく。										
価																
		0301	令和7年度に向けた教									の実	施個所と	の一体性を	考慮	し箇所
			を選定したため目標値											- (*)= ===	b 1 = 1 :	
		0302	森林所有者や地域住民							力の国	収組に対	して	支援した	こが目標達成	以には	至らな
	R	0000	かった。今後も森林像													
	О	0303	目標値を上回る7.68	naを整備し目標をi	差 以 した。	継続して	1丁:	o Cons.	0							

			指標数	1	1	1	1	1		
林業に関する担い手	の育成	達成状況	達成数	0	1	1	0	0		
			達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
計画的な森林整備事業	杰tt/P.今迁新会tn	R1	目標値	50	50	50	50	50	,	
1 推進による林業者の就		111	実績値	47	57	55	49			産業課
業環境の確保		417	評価	× 未達成	○ 達成	〇 達成	× 未達成		以上	
					事前環境保	全啓発活動	の実施を通知	∓通して行:	ったか	、目標
3 値には至らなかった。R4も引き続き事業の推進を行っていく。										
R 0401 目標数値である50人を上回る57人が森林保全活動に参加し目標達成。令和5年度も継続して行っていく。										
▼ R 0401 目標数値である50人を上回る55人が森林保全活動に参加し目標達成。継続して行っていく。										
<u>5</u>										
標値には至らなかっ7	こ。分和/年度も引	き続き事業	の推進を	行っていく	0					
	主な内容 計画的な森林整備事業 計進による林業者の就業環境の確保 401 森林環境の保全と森林値には至らなかった。 401 目標数値である50人 401 目標数値である50人	計画的な森林整備事業 森林保全活動参加 者数 業環境の確保 401 森林環境の保全と森林整備活動、森林支 値には至らなかった。R4も引き続き事態 401 目標数値である50人を上回る57人が森 401 目標数値である50人を上回る55人が森 401 森林環境の保全と森林整備活動、森林支	主な内容 管理指標 基準値 計画的な森林整備事業 森林保全活動参加 者数 41人 41人 401 森林環境の保全と森林整備活動、森林支援を活用し値には至らなかった。R4も引き続き事業の推進を 401 目標数値である50人を上回る57人が森林保全活動 401 目標数値である50人を上回る55人が森林保全活動 401 森林環境の保全と森林整備活動、森林支援を活用し	林業に関する担い手の育成 達成状況 達成数 達成本 主な内容 管理指標 基準値	林業に関する担い手の育成 達成状況 達成数 0 達成率 0.0% 主な内容 管理指標 基準値 R3 計画的な森林整備事業 計画的な森林整備事業 241	達成状況 達成数 0 1 達成率 0.0% 100.0% 主な内容 管理指標 基準値 R3 R4 目標値 50 50 1 接近による林業者の就 著環境の確保 41人 平価 × 未達成 0 達成 401 森林環境の保全と森林整備活動、森林支援を活用した機器の操作指導、事前環境保値には至らなかった。 R4 も引き続き事業の推進を行っていく。 401 目標数値である50人を上回る57人が森林保全活動に参加し目標達成。令和5年度 401 目標数値である50人を上回る55人が森林保全活動に参加し目標達成。総続して行	達成状況 達成数 O 1 1 1 達成率 O.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 10	達成状況 達成数 O 1 1 O 達成率 O.0% 100.0% 100.0% O.0% 100.0% O.0% O.0% E E E E E E E E E	達成状況 達成数 O 1 1 O O 達成率 O.0% 100.0% 100.0% O.0% O.0% O.0% E成本の容 管理指標 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 I	達成状況 達成数 0

0304 目標数値である3回更新を行った。令和7年度も継続して更新していく。

担当課	環境課			施策3-20	の全指標達成	戊率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	循環型社会の推進	指標数	12	12	12	12	12
月指す姿	市民、滞在者、事業者がごみの減量・資源化と温	達成数	6	5	6	6	0
日担9女	室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる	達成率	50.0%	41.7%	50.0%	50.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI) 達成数 2 2 1 1 0 0 達成率 100.0% 100.0% 50.0% 50.0% 50.0% 0.0% 成果 指標 1 日標値 29.696 29.548 29.399 29.250 29.101 実績値 28.208 28.450 27.781 27.372 まで 2				指標数	2	2	2	2	2	7	
選成集 1000分 500分 500分	1 1	が早指煙(KPI)								-	
開議 1 回燃ごみの排出量	' '						·				
日標値			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
1			R1	目標値	29,696	29,548	29,399	29,250	29,101	_	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		可燃にの切扱山里	20.759+	実績値	28,208	28,450	27,781	27,372		_ L	環境課
を設定 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	•										
大田 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日			将来人口	予測とご	ぶみの排出	印制施策や	減量化施制	による効!	果を踏まえ	₹、目	標値
展開											
リサイクル率 (総資源化量/総ご 日標館 1800 1850 1900 1950 2000 分量	5/1/		其淮值		B3	R/I	R5	R6	R7	当份	扣坐理
17.85% 実轄値				日標値							1230*
□ では、		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			· ·				20.00	%	環境課
日報値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標値の表示 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日	2		17.85%			-		-		以上	-310-50011
1 (実 練 評 価)・コロナ禍による社会経済活動の縮小もあり、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりが、ら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 1 (実 績 評 価)・ベットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	日標	i 過去のリサイクル率を元に、市民に対す	る適正な気	分別の徹	底や新たる		源化施策に	よる効果		目標	値を
日(欠年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績 評価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりた。 (次年度修正点)・目標達成した。 (次年度修正点)・目標達成した。 (次年度修正点)・目標達成した。 (次年度修正点)・目標達成した。 (次年度修正点)・目標達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 1 (実績 評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績 評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績 評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績 評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績 評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	の			.13							
(次年度修正点) ・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりがら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実 績 評 価)・ベットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	考え										
2 (実績評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績評価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりがら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価)・ベットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		1(実 績 評 価)・コロナ禍による社会経済活	動の縮小も	あり、目	標を達成し	た。					
2 (実績評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績評価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりがら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価)・ベットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(物ケウは ロボキボにウはていさはさ	######################################								
2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりがら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実 績 評 価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(次年度修正品)・目標達成に回じて51さ続き	排出重り源	重を図る	00						
度 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績 評価)・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりたら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績 評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績 評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績 評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績 評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		2(実績評価)・分別収集の定着により目標	を達成した								
日本 日	3 年度 R 4		CÆ/40/C	.0							
ら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績 評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績 評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績 評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績 評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(次年度修正点)・可燃ごみに混入されている	リサイクル	できるこ	みの一層の	分別を図る	0				
ら、目標を達成した。 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実績 評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績 評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績 評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績 評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。											
R 4 年度 (次年度修正点)・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実 績 評 価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	1 標のえ 成指2 標のえ 保徳 方 目 考 成指2 標の方 果標2 値 方 R 4 年度 R 5 年度 R 5 年度 R 6 月 日 表 日 表 日 表 日 表 日 表 日 表 日 表 日 表 日 表 日	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	動の回復に	より排出	量は前年度	より増加し	たが、人口	咸少やリサ~	イクル意識の	の高ま	りか
2 (実績評価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実績評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		- · - · - · - · - · - · - · · - · · · ·	######################################								
日本度 2 (実 績 評 価)・分別収集の定着により目標を達成した。 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実 績 評 価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(次年度修止点)・目標達成に向けて与る続き	排出重の減	重を図る	00						
度 (次年度修正点)・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。 1 (実 績 評 価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実 績 評 価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実 績 評 価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		2(実績評価)・分別収集の定着により日標	を達成した								
日(実績評価)・新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	-		CALINO 1C	.0							
加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価) ・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点) ・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価) ・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	R 4	(次年度修正点) ・可燃ごみに混入されている	リサイクル	できるこ	ぶみの一層の	分別を図る	0				
加も予想されたが、目標を達成することができた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価) ・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点) ・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価) ・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。											
R (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。 2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。						とにより、	社会経済活	動が本格的は	こ活発化し、	排出	量の増
2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。					-						
日 2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。 (次年度修正点)・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価)・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点)・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(水井及修正県)・日信建成に回げて、510歳	合排山里(7)	を表して	10·						
度 (次年度修正点) ・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。 1 (実績評価) ・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		2 (実績評価)・ペットボトルや古紙回収量	等の減少か	ら、令和	15年度は日	標を達成でる	きなかった。				
1 (実 績 評 価) ・ごみの排出抑制施策や減量化施策の推進により、目標を達成できた。 (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。	度										
R (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。		(次年度修正点)・「環境衛生だより」やイン	ターネット	等の広報	手段を用い	、リサイク	ル意識の向.	上を図る。			
R (次年度修正点) ・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。			U.4665 - ***	\\\		-1					
6		1(実績評価)・こみの排出抑制施策や減量	化施策の推	進により	、目標を達	成できた。					
6		(次年度終正点)・日標達成に向けて、引き結	キ排 山 豊 の	加生した「四	12						
			C押山里()	いままれて	る。						
		2(実績評価)・ガラスびんや古紙回収量の	減少から、	令和6年	度は目標を	達成できな	かった。				
(次年度修正点) ・資源ごみにおける割合が高い古紙がDX化の推進により減少して、リサイクル率を高めることが難しい状況となっ							ナイクル率を	高めること	が難しい状	況とな	フでえ
いるが、引き続き広報に努め、リサイクル意識の向上を図る。		いるが、引き続き広報に努め	、リサイク	ル意識の	向上を図る	00					

					指標数	10	10	10	10	10		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)・	主な内容(4桁=	コード)	達成数	4	3	5	5	0		主な内の達成状
					達成率	40.0%	30.0%	50.0%	50.0%	0.0%	況	
					指標数	1	1	1	1	1		
(21	ごみ発生抑制の推進		達成状況	達成数	0	0	1	1	0		
					達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		家庭ごみの発生を抑制するための啓発(生ごみの	生ごみ処理容器等	R1	目標値	30	30	30	30	30	件	
	01	い切り、艮四の艮へ合	設置費補助金交付設置数	26性	実績値	28	29	50	47			環境課
	り、生ごみ処理器の購入 費補助金の交付等) 設置数 26件 評価 × 未達成 × 未達成 ○ 達成 ○ 達成 以上											
	RЗ	0101 生ごみ処理容器等設置	置費補助及び環境衛	生協会によ	る生ごみ	+の水切り用	具の配付に	よる家庭ご	みの抑制に勢	努めた。		
年度評	R 0101 「環境衛生だより」による家庭用生ごみ処理器購入補助交付の周知を図ったが、目標値を下回ったため、市内の事業所に限定している購入場所について、市外への拡大も検討していく。											
	R 0101 「環境衛生だより」(毎年度10月発行)の家庭用生ごみ処理容器購入補助制度の記事が注目されるよう工夫を凝らしたこと等に											
	R 0101 購入条件を緩和したことにより、特に電動式生ごみ処理機購入による交付件数が増え、令和5年度同様、目標値を大きく上回る実績を上げることができた。											

					US IT WE						1	
					指標数	2	2	2	2	2		
(Э2	: ごみの適正処理の推議		達成状況	達成数	0	0	1	1	0		
					達成率	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			ᅘᅜᆉᄝᆂᆉᄃᇒᄝᄱᄽ	R1	目標値	10	10	10	10	10	件	
	02	201 一環としての看板の設	新規看板設置件数 /年 ※1	14件	実績値	20	17	23	33		1+	環境課
		置	/ + ^1	141+	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以下	
		 	西水の七 ゆのパー	R1	目標値	240	240	240	240	240		
	02	202 不法投棄パトロールの 強化	啓発のためのパト ロール日数	0400	実績値	239	237	324	271			環境課
		39.10		240日	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	
年 度	14 0202 日標は木達成であるものの、勤務日致の制限がある中で最大限のハトロールを実施している。ラ後も引き続き、他の業務との兼ね 全いの中で日標値を日均しつつも、パトロールの内容についてローリングしていきたい											
評価	平 R 5 0202 他の業務との調整によりパトロール日数を増やし、目標を達成することができた。											
	R	0201 人目に付きにくい場所 することができなかっ		棄が多発し	、これら	の箇所に看	板を設置し	て不法投棄	の未然防止に	こ努めたが、	目標	を達成
	6	0202 過去に不法投棄された 期的にパトロールして			ため、重	点的にパト	·ロールを実	施した。ま	た、警察機関	関にも不法法	全棄箇	所を定

※1 パトロール等の実施により、新規看板設置件数は目標値以下に留める。

O3O1 市主催による海岸清掃 活動の実施 市主催海岸清掃 実施回数 R1 目標値 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			 お照 国海洋プラフチャ	ックごみ除止		指標数	2	2	2	2	2			
主な内容 管理指標 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 単位 担当語 R1 日標値 1 1 1 1 1 1 1 1 1	()3			達成状況	達成数	2	2	2	2	0			
0301 市主催による海岸清掃 市主催海岸清掃 東施回数			ON県民建勤の推進			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
0301 市主催による海岸清掃 東施回数 1回 東議値 1 1 1 1 1 1 1 1 1			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
大阪田の数 1回 大阪田の数 1回 大阪田の数 1回 大阪田の数 1回 大阪田の 1回 1 1 1 1 1 1 1 1			本子房に トス海岸連想	本 予[2]	R1	目標値	1	1	1	1	1			
評価 ○ 達成 ○ 章成 ○ 章成		03			1 🗇	実績値	1	1	1	1			環境課	
180 東議値 26 28 23 31 31 31 31 31 31 31			心動の失能			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上		
180 実績値 26 28 23 31 以上 環境語			清掃活動団体やボラン	海出ごれ同児	R1	目標値	20	20	20	20	20			
四日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		03			100	実績値	26	28	23	31			環境課	
を回収した。 0302 海岸清掃活動を実施する個人、団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。 0301 新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。 0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。 0301 5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。 0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。 0301 6月の初週土曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。			清掃活動の支援		100	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上		
3 0302 海岸清掃活動を実施する個人、団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。 (301 新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。 (302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。) (301 5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。) (302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。) (303 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。) (304 6月の初週土曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。)				感染症対策を実施し	、5月の最	終日曜E	日に各団体((人) ととも	に海岸清掃	を実施し、	毎洋プラス	チック	ごみ等	
0302 海岸清掃活動を実施する個人、個本が個板のたとめの収集、建版などを支援し、活動しやすい環境の維持に劣めた。														
年 R チックごみ等を回収した。		3 0302 海岸清掃活動を実施する個人、団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。												
年 R チックごみ等を回収した。				******	=# I» + I =				11 1-1-+	/ - /二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	t ch+tr	= >+ =	~	
1	_	0			講しに上り	(、5月0)	一体四合コル	人) ここも	に 一 に 一 に 一 に に に に に に に に	と実施し、	サキノ	フス	
0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したこみの収集、建搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に劣めた。 0301 5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。 0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。 0301 6月の初週土曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。	牛	Κ												
PR 0301 5月の最終日曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。	度	+	0302 海岸清掃活動を実施す	する団体が回収した	ごみの収集	、連搬な	どを支援し	、活動しや	ずい環境の	維持に努めた	こ。			
R 0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。	152		0301 5日の最終日曜日に名	3団休(人)ととも	に海岸清掃	を宝施し	, 海洋プラ	フチックご	み等を同収	1,15				
5 0302 海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。	評						ハ ¹ 母/干ン ノ	7,7,7,7		٥/٥،				
O3O1 6月の初週土曜日に各団体(人)とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。 R			0302 海岸清掃活動を実施す	する団体が回収した	ごみの収集	、運搬な	どを支援し	、活動しや	すい環境の	維持に努めた	こ。			
R	価													
		0	0301 6月の初週土曜日に名	5団体(人)ととも	に海岸清掃	を実施し	、 海洋ブラ	スチックこ	み等を回収	した。				
0302 海岸清押泊割を夫加9 る団体が凹収したこみの収集、建版なこを文援し、活動しや9 い境境の維持に労めた。				まて日仕が同収した		· 小田 tán. ナ	・レナナボー	江 計 1 い	オハ理袋の	V#+±1ーカマッム・	E			
		О	0302 海岸清掃活動を美施り	のの国体が回収した	こめの収集	、理搬ん	にと文抜し	、 店割し や	9 ()	維持に劣めん	こ。			

		環境学習の充実及び流	温室効果ガス		指標数	3	3	3	3	3				
() 4	排出量の削減の意識	啓発・普及の	達成状況	達成数	1	0	0	0	0				
		推進			達成率	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		40.4 伊東市環境基本計画の	各課計画の推進実	R1	目標値	100		100	100	100	%			
	O	401 推進	横の達成率	92.9%	実績値	85.6		63	R8.2公表		/0	環境課		
		16.2E	III TO				× 未達成							
		太陽光発電等の再生可	太陽光発電等導入	R1	目標値	100	100	100	100	100	件			
	O	402 能エネルギーの普及啓	のための補助金交	100件	実績値	131	61	88	83			環境課		
		発	付件数			〇 達成			× 未達成		以上			
			 アースキッズ等環	R1	目標値	857	865	873	881	889	人			
	O	403 環境学習の実施	境学習参加者	847人	実績値	790	571	566	R8.2公表			環境課		
				1 to 00 to 0	評価		× 未達成				以上	70 h		
		0401 環境基本計画に定める										館点刀'		
	Ь	ら、不特定多数の人との接触を避け、イベントや講座を中止しているため、昨年度(86.4%)と同程度の結果となった。 0402 例年よりも申請数は多く、中でも高効率給温器の申請数が増加した												
	R 3	0402 例年よりも申請数は多く、中でも高効率給湯器の申請数が増加した。												
		0403 新型コロナウイルス感染症の影響により環境学習への参加人数が増加しなかった。今後も啓発活動を続けていく。												
			公未作りが音により	垛况于日"	ヘロンシカロン		7013 JIC.		ロ野で似いり	CVICo				
		0401 新型コロナウイルス原	感染症の影響からは	回復基調で	あり、事	業等は実施	られたもの	の、参加人	数等の目標を	を達成する。	ことが	できな		
		かった。引き続き計画	画が実行されるよう	、各課との)調整を図	図る。								
_	R	0402 一般的に普及している	る高効率給湯器等を	対象外とし	たため申	■請数が減り	ルた。引き	続き広報いる	とう等により)周知啓発る	を実施	してい		
年	4	<		14774412 V W		h-4-8\-+ (1\ 1 -+		→*±₩ ^ -		+ 7 /5 /- - 1	O 1⊞14	- 774 2121 449		
		O4O3 児童数が減少したこと 加者数を増やしていく		境字省への)参加人数	なが減少した	こ。アースキ	ツス事業の	対家を払入?	する等により	り環境	字省委		
度		0401 未達成施策の大半が、		転換など.	達成が容	3易でない旅	策ではある	ものの、関	系課へ協力を	を依頼してい	1<.			
				1212.0.0.0	~		27,1 (10.07 ()	2,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
	R	0402 電気自動車を補助対象	象としたため前年よ	りも申請数	は増加し	たが、目標	値を下回っ	たため、引	き続き広報し	ハとう等に。	より周	知啓発		
評	5	を実施していく。												
		O4O3 アースキッズ参加者数					妙したこと	などで、総	数としては前	前年度を下回	回った	ことか		
価		ら、環境学習の機会を	を増やしていくよう	関係課等へ	働きかに	けていく。								
		0401 令和8年2月公表												
		R 0402 電気自動車の申請数半減など、前年に比べ申請数が減ったことから目標値を下回ったため、引き続き広報いとう等により周知啓発												
	6	を実施していく。												
		0403 令和8年2月公表												

		- 市役所地球温暖化対策	等宝行計画の		指標数	1	1	1	1	1			
(25	推進	ス大门 前回り	達成状況	達成数	0	0	0	0	0			
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		温室効果ガスの総排出	市有施設の温室効	R1	目標値	11,643	11,181	10,732	10,283	9,834	+ 000		
	O	501 量を削減するための配	果ガスの総排出量	14,034	実績値	13,720	13,691	13,180	R8.2公表		t-CO2	環境課	
	思打到の夫他 T-CO2 評 他 X 未達成 X 未達成 X 未達成 X 未達成 2 までは、 1												
	R 3	るる中心放使用エネルギーは削減したが、小中子牧の全調設備が元補されたことにより、削減力を工自るLFG使用重の増加があった。											
年度	R 4	0501 新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していたイベント等が開催されたため、観光施設の排出量が増加したが、電気使用量については昨年度と比べて削減されたものの、目標を達成することができなかった。今後も前電やごみの減量等温室効果ガス総排出量											
度評価													
	R 0501 令和8年2月公表 6												

					LIKE LITT MALE							
					指標数	1	1	1	1	1		
	0	6 廃棄物処理施設の適	正な維持管理	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	Г	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		排出基準値1ng-TEQ/	ダイオキシン類 (1ng-TEQ/mN)	R 1 1ng- TEQ/m³	目標値	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/MN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/MN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/MN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎡N 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	ng- TE Q/m³	
		mN以下、放流水質 0601 COD40mg/L以下、 SS90mg/L以下の基 準値内処理	放流水質 COD(40mg/L) SS(90mg/L)	N以下 40mg/L 以下 90mg/L 以下	実績値	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/mN 以下 40mg/L以下 90mg/L以下		N mg/ L 以下	環境課
				以下	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			
	11.5	R 0601 可燃廃棄物、不燃廃到	集物、し尿処理の適	正管理によ	り、目標	隠を達成し	ている。今	後も施設の	適正な維持領	管理に努めて	ていく	0
左	年 R Q O6O1 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。 度 評 R O6O1 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。 5											
部位												
	R 0601 可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。 6											

担当課	下水道課•環境課			施策3-30	の全指標達成	戊率	
政策目標 3	政策目標 3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち		R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	生活排水対策の充実	指標数	14	14	14	14	14
月指す姿	市民にとって適切な汚水処理により生活環境が向 上し、公共用水域の水質保全等が図られ、快適な	達成数	6	10	6	8	0
口田ソ女	市民生活を送ることができる	達成率	42.9%	71.4%	42.9%	57.1%	0.0%

							_				_	_	7	
					指標数		3	3		3	3	3		
1	双 身	県指標(KPI)			達成数		3	3	/	3	3	0		
				+**	達成率		O.O%	100.09	o í	100.0%	100.0%	0.0%	34 /L	+0.1/=8
				基準値		F	3	R4		R5	R6	R7	単位	担当課
			八代田橋	R1	目標値		2		2	2	2	2	mg/ℓ	下水道
			(BOD)	0.9mg/ &	実績値		8,0	0.		0.7	0.9		l	課
			(808)		評価	0	達成	〇 達成	_		〇 達成		以下	
成		環境基準	渚橋	R1	目標値		3		3	3	3	_	mg/ℓ	下水道
指	標	(河川BOD·	(BOD)	1.0mg/ℓ	実績値		0.9	О.	_	0.9	0.8			課
		海域COD)	(DOD)	1,01116/ 2	評価	0	達成	〇 達成	C	達成	○ 達成		以下	DIV.
			伊東港中央	R1	目標値		2		2	2	2	2	mg/ℓ	下水道
			(COD)	1.5mg/ℓ	実績値		1.5	1.	3	1.4	1.0		IIIg/ Ł	課
			(COD)	I .SITIE/ L	評価	0	達成	〇 達成	С	達成	〇 達成		以下	□木
目標	穏	目標値は国の環境基準(排	#出基準) とし	、下水道	整備によ	り良	好なな	k質を保	全し	、将来に	渡って維	持していく	こと	を目
σ_{z}		標とする。												
考え	方													
R	1	(実績評価)・生活排水を	適正に処理する	ことが、公	共水域σ)水質	保全や	公衆衛生	の向	上につなれ	がるため、 ⁻	下水道未接線	売世帯	に対す
3		る個別訪問を	実施し水洗化率	の向上に努	めた。									
度		(次年度修正点) • 下水道接続	促進を継続し、	公共水域の	水質保全	ミに努	める。							
R			適正に処理する)水質	保全や	公衆衛生	の向	上につなれ	がるため、	下水道未接線	売世帯	に対す
4		る個別訪問を	実施し水洗化率	の向上に努	めた。									
度		(次年度修正点) • 下水道接続	促進を継続し、	公共水域の	水質保全	ミに努	める。							
R			適正に処理する)水質	保全や	公衆衛生	の向	上につなれ	がるため、	下水道未接網	売世帯	に対す
5		る個別訪問を	実施し水洗化率	の向上に努	めた。									
年		(次年度修正点) • 下水道接続	促進を継続し、	公共水域の	水質保全	ミに努	める。							
度														
R			世田開始区域の		の勧奨通	知送	付等に	よる水洗	七率	増加の取締	組を実施し、	生活排水の	D適正	な処理
6		を行うことで	で生活環境の向上	に努めた。										
年		(次年度修正点)・継続的な下	水道接続促進策	の実施、公	衆衛生の)向上	及び公	共水域の	商正	な水質保金	全管理の維持	寺に努める。		
度														

					指標数	11	11	11	11	11		本的な取
2	į	基本的な取組(2桁コード)	主な内容(4桁二	リード)	達成数	3	7	3	5	0		・主な内 の達成状
					達成率	27.3%	63.6%	27.3%	45.5%	0.0%	況	
					指標数	2	2	2	2	2		
(1	下水道の健全経営		達成状況	達成数	1	2	1	1	0		
					達成率	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		40.4 公営企業会計制度に基	汚水処理費に係る	R2	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	%	下水道
	0	101 公呂正未云司 前及に至 101 づく財務分析	2000年頃に除る	50.5%	実績値	49.9	51.6	51.6	53.9		/0	課
		THE CASE IN	M A CONT		評価	× 未達成			〇 達成		以上	
		一般会計からの繰入金	基準外繰入金の割	R2	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50,0	%	下水道
	0	102 その他下水道事業経営	全年/小様/人並の高)	444%	実績値	48.3	49.3	52.2	52.1			課
		のあり方の検討	_		評価	0	〇 達成				以下	
		O1O1 目標値に対し、O.O1 な使用料金の設定を行					しいとされる	る本指標にあ	いて著しく	低い数値で	ある。	適正
	R 3										- 144 -	(T))/=-
	3	0102 本指標においては、選挙が求められる。	達成したことになっ	ているが、	基準外額	を入金の割合	は昨年度に	比べて増加	している。約	経費回収率I	引様の	経営改
		0101 目標値を若干上回って	ているが、100%以	上が望まし	ハとされ	こる本指標に	おいて著し	く低い数値	である。			
年	R	適正な使用料金の設置	Eを行うなどの経営	改善が求め	られるり	況である。						
+	4	0102 目標値を達成している	るが、依然として基	準外繰入金	の割合か	高いため、	基準外繰入	金を抑制する	るための経営	営改善が求め	かられ	<i>,</i> る。
度		0101 目標値を若干上回って	こいろが 100%い	!上が望ま!	ルンとされ	1.ス末指標に	おいて荽し	く低い数値	であろ			
評	R						-00V1C=C		CW O.			
部	5	0102 使用料金の改定を見過	送ったことや維持管	理費等の増	加等によ	り、基準外	繰入金額が	増加しており	り著しく低い	ハ数値である	<u> </u>	
侕		適正な使用料金の設定										
		0101 前年度実績値を若干」	一回っており改善さ	れているか	1009	6以上が望ま	Eしいとされ	る本指標に	おいて著し	く低い数値	である	5.
	R	適正な使用料金の設置	官を行うなどの経営	改善が求め	られるり	況である。						
	6	0.02 2731123300000					繰入金額が	増加しており	り著しく低い	ハ数値である	3 .	
		適正な使用料金の設定	Eを行うなどの経営	改善が求め	られるサ	況である。						

					指標数	2	2	2	2	2]	
()2	2 下水道施設の効率的	な整備促進	達成状況	達成数	1	0	0	1	0	1	
					達成率	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		下水道区域の見直しも		R2	目標値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	ha	下水道
	O2	201 含めた効率的な整備の	整備済面積/年	2.0ha	実績値	0.5	0	0	1.0			課
		促進		_,_,_,	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	UZK
		。。。 主要幹線以外の枝線整		R2	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha	下水道
	O ₂	202	整備済面積/年	1.0ha	実績値	3.9	0.7	0.5	5.8			課
				.,	評価	〇 達成	× 未達成		〇 達成		以上	
	R	0201 アクションプランに を計上出来ず目標値		を行ったも	のの、語	8事情により	工事の進捗	が遅れ、次	年度へ繰り起	返したことだ	0,6,	実績値
R を訂正面来9首標値を入幅に下回った。												幅に上
	R	O2O1 現在川奈駅周辺に幹行 ンプが稼働しないと何 フが稼働すると今年	供用できない。 この	ため、整備	面積とし	て計上でき	ないことか	ら、整備面	積がOhaと			
年度	4	O2O2 現在川奈駅周辺の面 ンプが稼働しないとい が稼働すると今年度	供用できない。この	ため、整備	面積とし	ノて計上でき	ないことか	ら、目標を	達成できなが			
	0201 ボンブに接続する汚水幹線布設工事の遅延から令和5年度末に稼働予定であったボンブが未稼働となったため、汚水幹線の供用が 											供用が
5 0202 ポンプに接続する汚水幹線布設工事の遅延から令和5年度末に稼働予定であったポンプが未稼働となったため、枝線の供用なくなり、整備面積として計上できなかったことから、整備面積が0.5haとなった。										ができ		
	R	0201 川奈駅周辺地域に布	してきた汚水幹線 いてきた汚水幹線	治線の供用	開始によ	、整備面	ī積が1.Oha	となったが、	、目標達成は	こ至らなかっ	った。	
	6	0202 川奈駅周辺のマンホ り、整備面積が5.8h			「設や川奈	ミ奥水無田地]域汚水処理	施設の公共	下水道へ統領	合地域の供用	用開始	によ

	り、 全幅 国情が り、 の と の の の の の の の の															
					指標数		4		4		4		4	4	1	
(ЭЭ	3 下水道施設の適正管	理	達成状況	達成数		1		2		1		1	0	1	
			_		達成率	2	5.0%	5	0.0%	2	25.0%	2	5.0%	0.0%	1	
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
			長寿命化計画の推	R2	目標値		50		50		50		50	50	か所	エル学
			進(マンホール蓋	72か所	実績値		39		33		38		43		13.41	下水道
			交換)	1 2/3/7)	評価	X	未達成	×	未達成	×	未達成	X	未達成		以上	本
			長寿命化計画の推	R2	目標値		1		1		1		1	1	件	下水道
			進(施設改修)	1件	実績値		0		1		0		0			課
		301 計画に基づく施設の長			評価	X	未達成	0	達成	X	未達成	X	未達成		以上	
		寿命化や耐震化の推進	 耐震化計画の推進	R2	目標値		250		250		250		250	250	m	下水道
			(管路改修)	200m	実績値		422		423		451		177			課
				20011	評価	0	達成	0	達成	0	達成	X	未達成		以上	
			耐震化計画の推進	R2	目標値		1		1		1		1	1	件	下水道
			(施設改修)	1件	実績値		0		0		0		1			課
				. , ,	評価	_	未達成		未達成			0	達成		以上	
	R 3	0301 下水道施設の耐震化 画通り事業を実施出		国の交付金	によりま	€施し	しており) 、 f	合和3年	度に	ま要望し	た交	付金が	削減されたる	ことか	ら、計
年	R 4															
度評価	R 5	R 0301 下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しているため、5年度は要望した交付金が削減されたことから、計画通り事業を実施できなかったが、今後は交付要件等の改正を注視し、予算要望のヒアリング等で県の担当者に事業の必要性を理解してもらうように努めていく。														
	R 6	O301 下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しているため、令和6年度は要望した交付金が削減されたこともあり、計画した事業の実施を一部見送ったが、玖須美中継ポンプ場耐震補強工事は計画通りに完了したことで目標を達成した。今後は交付要件等の改正を注視し、予算要望のヒアリング等で県の担当者に事業の重要性について理解を求めていく。														

					指標数	1	1	1	1	1				
(Э4	1 減災対策		達成状況	達成数	0	1	1	1	0				
					達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		広域避難場所等におけ		R2	目標値	4	5	6	6	6	か所	下水道		
	0.	401 るマンホールトイレの	累計整備済箇所	2か所	実績値	3	5	6	6		JJ.FJI	課		
		整備		2/3/7/1	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	□ ∧		
	R 3	き計画していたが1か所の設置に留まった。												
年度	R 0401 目標値については、伊東市総合地震対策計画に基づき設定したが、設置予定箇所であった広域避難場所の西小学校が廃校になった													
(評価	R 0401 伊東市総合地震対策計画に基づき広域避難場所等におけるマンホールトイレを設置した。 5													
	R 6	0401 伊東市総合地震対策	十画に基づいた広域	避難場所等	における	るマンホール	トイレの設	置を令和5	年度までに	整備した。				

						指標数	1	1	1	1	1			
	05	下力	(道への接続の促)	焦	達成状況	達成数	0	1	0	0	0			
						達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		公	共下水道及び地域汚		R1	目標値	120	120	120	120	120	件	エルギ	
	0		処理施設の供用開始	啓発活動の継続	110件	実績値	64	123	68	61		1+	下水道課	
		X	域での啓発活動		1101+	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	一	
	R 0501 新型コロナウイルス感染症拡大に起因する理由(緊急事態宣言等による外出・面会の自粛、市内の感染拡大状況、情勢不安な市民													
	3 感情を考慮)により、実施を見合わせる時期があったことから、未達成となった。													
白	- R	0501	啓発活動地域が密集し	していたことにより	目標値を達	成するこ	ことができた	-0						
上馬	4													
言	ľR	0501	供用開始3年未満のオ							を行ったが、	供用開始か	1635	∓以上	
	西 5 経過している者への啓発は物価高騰など社会情勢を考慮し、例年より少ない実績となった。													
	R	0501	物価高騰が続き家計	への負担が増加して	いることを	踏まえ、	社会情勢を	考慮し目標	値より少な	い実積となっ	った。また、	戸別	訪問か	
	6		ら郵送での勧奨通知に	こ変更した。										

											_		
					指標数	1	1	1	1	1			
	Э6	る 適正な浄化槽の維持領	管理の推進	達成状況	達成数	0	1	0	1	0			
					達成率	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			月海ル描パし口	R1	目標値	40	40	-	45	-			
		県の浄化槽パトロールに 601 同行した適正な浄化槽の	県浄化槽パトロー ル訪問件数	111		4	1	(45)	(-)	(50)		環境課	
	100	維持管理の戸別説明	※隔年実施	32回	実績値	0	52	1	60			垛児休	
	R 0601 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当該パトロールを実施しなかったため。												
	3												
年	R	0601 新型コロナウイルス原									対値と	同様と	
度	4 した。今後も県と連携して当該パトロールを実施することにより、浄化槽の維持管理を推進していきたい。												
度評	R 0601 新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和3年度で実施しなかった当該パトロールを令和4年度で実施し、令和4年度から隔年実												
	価 5 施とすることとなったため、今年度は実施しなかった。また、実施年度に合わせるため、令和5年度以降の目標値を修正する。												
	R		パトロールを実施し	た。今後も	県と連携	して当該バ	トロールを	実施するこ	とにより、氵	争化槽の維持	寺管理	を推進	
	6	していきたい。											

担当課	水道課		J	施策3-40	の全指標達成		
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 4	安全でおいしい水の安定供給	指標数	10	10	10	10	10
月指す姿	水道使用者が安全でおいしい水を安定的に使用す	達成数	6	6	7	8	0
日拍9安	ることができる	達成率	60.0%	60.0%	70.0%	80.0%	0.0%

	5 - 2 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		连热平	00.076	00.076	10.076	00.076	0.076					
			_						_				
			指標数	1	1	1	1	1					
1 成	:果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0					
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	「安全でおいしい水の安定供給」に	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課				
成果	満足している市民の割合(市民満足	R2	目標値	88.4	88.8	89.2	89.6	90.0	J % I				
指標	度調査)	88.0%	実績値	88.1	86.7	85.4	84.4		」 / 0 水道課				
		00.076	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上				
目標値	本市の水道水に対する市民の満足度は高	い水準を	維持して	いるが、	勇水及び井	戸水が9害	を占める	本市の水道	シャクス				
の的にPRしていくとともに、計画的な老朽化施設の更新や耐震化を推進することにより、さらなる市民満足度の向上が可													
考えた	きえ方にときえる。												
R	(実 績 評 価)・目標値には達しなかったも	のの、令和	3年度実	施の市民満	足度調査の	結果から満	足度として	は高水準を	維持してい				
3	ると考える。												
年	(次年度修正点)・水道施設の老朽化が課題と	なっている	ため、計	画的に水道	施設の更新	を進め、さ	らなる満足	度の向上に	努める。				
度													
R	(実績評価)・令和4年度実施の市民満足		果から満	足度として	は高水準を	維持してい	ると考える	が、結果と	して目標値				
4	には届かず未達成となってし	まった。											
年	(次年度修正点)・安心・安全な水の供給を継	続するため	、計画的	な水道施設	の更新を進	めることに	より、さら	なる満足度	の向上に努				
度	める。												
R	(実 績 評 価)・目標値には達しなかったも	のの、市民	満足度調	査の結果か	ら高水準の	満足度を維	持している	と考える。					
5													
年	(次年度修正点)・安全でおいしい水の安定供	給を継続す	るため、	計画的な水	道施設の更	新を進める	ことにより、	、更なる満	足度の向上				
度	に努める。												
R	(実 績 評 価)・目標値には達しなかったも	のの、市民	満足度調	査の結果か	ら高水準の	満足度を維	持している	と考える。					
6													
年	(次年度修正点)・安全でおいしい水の安定供	給を継続す	るため、	計画的な水	道施設の更	新を進める	ことにより、	、更なる満	足度の向上				
度	に努める。												

					指標数	9	9	9	9	9		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	6	6	7	8	0		・主な内 の達成状
					達成率	66.7%	66.7%	77.8%	88.9%	0.0%	淣	
					指標数	2	2	2	2	2		
	01	水質の適正管理の推進	₤	達成状況	達成数	2	2	2	2	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		(0) 原水・浄水の定期的な		R2	目標値	100	100	100	100	100	%	
	0	101 水質検査の実施	水質基準適合率	100%	実績値	100	100	100	100		/0	水道課
		3,47,50			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			
				R2	目標値	12	12	12	12	12		
	0	102 検査結果の公表	毎月公表	毎月公表	実績値	12	12	12	12			水道課
				3702.21	評価	○ 達成	〇 達成	○ 達成	〇 達成		以上	
		0101 残留塩素は毎日、水質	質は毎月検査を実施	し、水質基	うした安全で	で安心な水質	を維持した	.0				
	R 3	0100 LESTAT (** EXT. EXT. EXT. EXT. EXT. EXT. EXT. EXT.	- / .0 > - / . +		1.34 1							
	3	0102 水質検査結果を毎月7	マームページ で公表	し、安全な	:水迫水(ごめることを	は周知した。					
		0101 残留塩素は毎日、水質	質は毎月検査を実施	し、水質基	準に適合	らした安全で	で安心な水質	を維持した	.0			
年	R 4	0102 水質検査結果を毎月が	- 1. ^º シブブハキ		コレビュレフ	<u> </u>	田加した					
度	1	0102 小貝快宜結果を母月/	ハームハージで公表	ひ、女主は	小坦小(こめることを	同和した。					
		0101 残留塩素は毎日、水質	質は毎月検査を実施	し、水質基	準に適合	うした安全で	で安心な水質	を維持した	.0			
副	R											
佃	5	0102 水質検査結果を毎月が	マームページで公表	し、安全な	水道水で	であることを	題知した。					
		0101 残留塩素は毎日、水質	質は毎月検査を実施	し、水質基	準に適合	うした安全で	で安心な水質	を維持した	.0			
	R 6	0102 水質検査結果を毎月が	マームページで公表	し、安全な	水道水で	であることを	・周知した。					
							2, 3, 5 0 , 6					

					TH: THE WE	4	4	4	4	4	1				
					指標数	1	1	1	1	1					
	0	2 管路更新(耐震化)	事業の推進	達成状況	達成数	0	0	1	1	0					
					達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		効率的な答案の再新専		R2	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年				
	C)201 効率的な管路の更新事 業の実施	更新距離数	1.Okm/年	実績値	0.7	1.3	3.3	2.0		NIII/ +	水道課			
	F	R 0201 水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発覚し、全国的に水道資材が一時出荷見合わせとなり、発注済工事の年度内完成													
	3	R 0201 水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発見し、全国的に水道資材が一時出何見合わせとなり、発注済工事の年度内完成 3													
	F		既設埋設管(下水道												
1	ΕľΖ	遅れが生じ、年度内5	完成が困難となった	。令和5年	度は上記	己問題の影響	『が少ない施	工箇所であ	るため、実	績値は増と	なる見	見込み			
J	₹ 4 ₹ _	である。													
Ē	ΨF										令和5	5年度			
	5 5	は繰越工事が無く計画	画どおり工事完了し	たことや、	繰越工事	事分の延長か	が加算され実	経績値が目標	値を大きく	上回った。					
	F	0201 繰越工事が無く計画	ビおり工事完了した	ため目標値	を上回っ	った。引き続	き効率的な	管路の更新	事業を実施	していく。					
	6	6													

					+15.4至水片	0	0			0				
		、 災害・事故時に迅速に	一対応できる体		指標数	2	2	2	2	2				
1	23	制づくり	27.57.0. 2 2 3 1 1	達成状況	達成数	2	2	2	2	0				
		ورارا کے درارا			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		52 2 1 1 - 1 1 1 2 Ye 1 1		R2	目標値	237	237	237	237	237				
	03	801 緊急時における資材・	備蓄資材の品目数	00700	実績値	237	237	237	237		品目	水道課		
		こで 配管材の確保		237品目	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
				R2	目標値	7	7	7	7	7				
	0302 応接控力体制の確立 応援協力協定 宇徳信 フ フ										団体	水道課		
	~	202 地域及侧及凹凸上	団体数	7団体	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
	R 3 0302 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。													
	3	0302 人規模災告寺に備え、	他の事業団体との	心损肠刀体	・前の惟は	ミレングへ	50) CVIC.							
		0001 // # # # # # # # # # # # # # # # # # #	-+	71242H	++- V= +-1 =	TO 10 1- 10 1	E2 /2 11 /2		1					
		0301 災害や突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き偏	畜貧材 <i>0.</i>)催保に劣め)、緊急对心	いできる体制	を整える。					
年	R		(I)											
	4	0302 大規模災害等に備え、	他の事業団体との	応援協力体	制の確偽	限について到	らめていく。							
度														
		0301 災害や突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き備	蓄資材の	確保に努め)、緊急対応	できる体制	を整える。					
評	R													
	5	0302 大規模災害等に備え、	他の事業団体との	応援協力体	制の確保	について努	らめていく。							
佃														
		0301 災害や突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き備	蓄資材の	確保に努め)、緊急対応	できる体制	を整える。					
	R													
	6	0302 大規模災害等に備え、	他の事業団体との	応援協力体	制の確保	について努	らめていく。							

						指標数	3	3	3	3	3		
)4	- 持続	可能な経営基盤の)強化	達成状況	達成数	2	2	2	2	0		
						達成率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		幺又	営の効率化・経費削		R1	目標値	105	105	105	105	105	%	
	O4	401 灩	さい が 学 10・ 社 貝 引	経常収支比率	105%	実績値	99.5	99.3	98.0	98.0			水道課
		1174				評価			× 未達成	× 未達成		以上	
					R1	目標値	97.30	97.35	97.40	97.45	97.50	%	
	O ₂	402 収	納率の向上	収納率	97.29%	実績値	97.70	97.73	98.03	97.87			水道課
						部 価				〇 達成		以上	
					R1	目標値	0	0	0	0	0	<u> </u>	
	O ₄	403 料	金体系の見直し	料金値上げ	0円	実績値	0	0	0	0] 13	水道課
									〇 達成	〇 達成			
0401 給水収益の減少により、健全経営の水準とされる100%を下回った。主な原因は、世界的なあるため、今後しばらくは厳しい状況が続くと思われる。										型コロナウ	イルス感染	症の	広大で
R 0402 収納率は目標値を達成できているため、引き続き水道料金事務センターと密に連携し収納率の向上に努める。													
	3	0.100	*****	* 	// Luba	1-11.1	L/± / ± = =	- JIN A H 1 1 1	* - + A = 1	->+ b	- 1 - 6 - 1	+ + *-	- 334
			新型コロナウイルス® しい状況であるとの認	認識から今後の経営	状況を注視	したい。							
		0401	新型コロナウイルス感										
			費等の経費が増加してき、経営改善に向けた			(率か減り	いしており、	今後しはら	くは厳しい	状況か続く	と思われる	か、5	言続
	R	0402	収納率は目標値を達成			公型以合	シャンカー	と家に油堆	I IIDkin本の	向トに奴み	Z		
年	4	0402	以刑学は日际胆ど達用	(Ca Chara),	この意と	(但科立	動 ピンター	て名に建物	の収納率の	回上に劣め	ට ං		
		0403	令和4年度においても										を得な
度			い状況であることに問										
		0401	経常収支比率は3年連			健全な	事業運営が図	図られていた	いと考える	。経費節洞	も限界が近	づく	なか、
	_	0.100	料金改定(値上げ)を			ハナルハ ヘコ	= 25 1-2 - 5	1-0-1-1-1	1 45+	7 /D/4 = 0	カレク がよ		
評	K	0402	収納率は目標値を達成	えぐさ (いるため、	引き続き水	追料金	■務センター	- と密に連携	し、さらな	る収納率の	回上に努め	රං	
0403 令和5年度においても料金値上げは実施しなかったが、3か年度								21123+44112+	つなせまた	<u> </u>	Λ	左连	1021+
価		0403	料金改定(値上げ)を					の飛損大を	言上してめ	り、古他の	牛皮丸	公庫は	
ш		0401	経常収支比率は4年連					-	いと老する	経費節減	+限果が近	づくた	でか
		<u></u>	料金改定(値上げ)を							· 사내시오고차 o	CPK9 F/3 /L		Y12 (
		0402	収納率は目標値を達成	できているため、	引き続き水	道料金事	務センター	-と密に連携	し、更なる	収納率の向	上に努める	0	
	6												
		0403	令和6年度においても									開始す	る時期
			となってきている。今	後は、「栓呂戦略	・アセット	・イイン>	ノト」に治	づし、料金	以正の検討	と進め (い	< o		

					11 - 1									
					指標数	1	1	1	1	1				
(05	民営水道の統合の推過	進	達成状況	達成数	0	0	0	1	0				
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		ナなる声光子のなるの		R2	目標値	3	3	3	3	3	回/年			
	O501 新進に向けた複雑 協議回数 1													
	R 0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。													
	3													
年	R	0501 民営水道事業者側の放	施設台帳等の整備が	整わず、具	体的な協	協議に至らな	かったが、	今後も統合	に向け推進	していく。				
世	4													
評	R	0501 民営水道事業者側の放	施設台帳等の整備が	整わず、具	体的な協	諸議に至らな	かったが、	今後も統合	に向け推進	していく。				
年度評価	5													
	R	0501 協議回数は目標を達成	成することができた	が、統合に	は至らな	なかったため)、今後も絣	合に向け推	進していく	0				
	6													

担当課	都市計画課・建築住宅課・市民課			施策3-50	の全指標達成	戊率	
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 5	魅力的な都市空間の創造	指標数	19	19	20	21	20
目指す姿	市域で地域特性を生かした安全で快適な市街地が	達成数	14	12	13	10	0
日担9安	形成され、景観に配慮されている	達成率	73.7%	63.2%	65.0%	47.6%	0.0%

									•			
			指標数	2	2	2	2	2				
1 1	対果指標(KPI)		達成数	1	0	0	0	0	1			
			達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	「海岸・高原・住宅地及び市街地	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果	の街並みなどの良好な暑観の形	R2	目標値	60.0	62.0	63.0	64.0	65,0	0/			
指標 1	成」に満足している市民の割合		実績値	58.9	54.2	59.5	59,2		%	都市計		
	(市民満足度調査)	58.3%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	画課		
月標	直「海岸・高原・住宅地及び市街地の街並る	みなどの	o					1 亚成30		宝績		
考え	57.1%、令和元年度実績 55.5%、令和											
3/6/	土地の使い方について「全体とし	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
成果	て調和が取りており 良い状能で	R2	目標値	34.0	36.0	38.0	40.0	42.0		3		
指標	ある」と回答した市民の割合(市		実績値	41.5	31.1	24.8	27.0		%	都市計		
2	民満足度調査)	32.6%			× 未達成				以上	画課		
		能である						98% 会報		Fre		
目標の	🏮 績 32.6%を参照し、各年度2%程度上昇					737070-4-	反大順 JZ	O/O 、 114	YU Z I	F 及 大		
	1 (実績評価)・景観施策により積極的に取り						う針の見直し	/や重点地区	区の候	補地や		
	眺望点の選定等、伊東市景観形					けつに。						
R 3	R (次年度修正点)・重要景観景形成地区を定め、より良好な景観の形成に努めていく。 3 (実験 評価)・人々の生活や経済活動等により形成される事業と伊東の自然、歴史、文化と調和が取れるよう、主に土地利用事業等											
年度	2 (実 績 評 価)・人々の生活や経済活動等によ の適正化に関する指導要綱に基				然、歴史、	文化と調和な	が取れるよう	う、主に土地	也利用	事業等		
	(次年度修正点)・状況に応じ指導要綱等の基準	≝の見直し	を行い、	調和が図れ	るよう適正	な指導を行っ	っていく。					
	1 (実績評価)・景観施策により積極的に取り 眺望点の選定等を定めた伊東市 組みを行った。											
R 4	(次年度修正点)・重要景観形成地区を指定し、	より良好	な景観の	形成に努め	ていく。							
年度	2(実績評価)・人々の生活や経済活動等によ の適正化に関する指導要綱に基				然、歴史、	文化と調和な	がとれるよう	う、主に土地	也利用	事業等		
	(次年度修正点) ・ 状況に応じ指導要綱等の基準				るよう適正	な指導を行っ	っていく。					
	1 (実績評価)・景観施策により積極的に取り	1組み早知	に配慮し	たまちづく	いた准める	ため 其末1	5針の目直1	かまらかり	7の候	油まれ		
	1 (美瀬 評価) ・ 京販売戻により積極的に取り 眺望点の選定等を定めた伊東市 成地区として指定すべく原案を	5景観形成	基本計画	ルスグラマ i及び伊東市	景観計画に	をして、基本が 基づき、東流	毎館(松川)	周辺地区を	を重要	景観形		
R 5	(次年度修正点)・東海館(松川)周辺地区を重 案の参考とするとともに、伊東				し、パブリ	ックコメン	ト等で市民の	Dご意見を顕	恵取し	、最終		
年度	2(実績評価)・人々の生活や経済活動等によ	い形成さ	れる事業	と伊東の自	然、歴史、	文化と調和が	がとれるよう	う、主に土地	也利用	事業等		
	の適正化に関する指導要綱に基	きづき指導	を行った									
	(次年度修正点)・状況に応じ指導要綱等の基準											
	1 (実 績 評 価)・伊東市景観形成基本計画及ひ く伊東市景観審議会に諮問する た。											
R 6 年	(次年度修正点)・東海館(松川)周辺地区の重大室山周辺地区の関係者の意見	見集約等を	進めてい	<.								
度	2(実 績 評 価)・人々の生活や経済活動等によ の適正化に関する指導要綱に基	い形成さ きづき指導	れる事業 を行った	と伊東の自	然、歴史、	文化と調和な	がとれるよう	う、主に土地	划用	事業等		
	(次年度修正点) ・状況に応じ指導要綱等の基準	≝の見直し	を行い、	調和が図れ	るよう適正	な指導を行っ	っていく。					

					指標数		17		17		18		19	18	※ 基	本的な取
2	į	基本的な取組(2桁コード)	・ 主な内容(4桁二	1 - ド)	達成数		<u></u> 13		12		13		10	0		・主な内 の達成状
					達成率	76	5.5%	7	0.6%	7	2.2%	5	52.6%	0.0%	況	刀连风机
					指標数		3		3		3		3	3		
	ე1	中心市街地の活性化の	の推進	達成状況	達成数		2		3		3		2	0	-	
					達成率	66	5.7%	10	00.0%	10	00.0%	6	66.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		I	R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
			四本町 公 古 担 軟 供	R2	目標値		5.0		10.0		20.0		30.0	70.0	%	±n —= 1
	O.	101 伊東駅周辺地区の整備	伊東駅前広場整備 の進捗率	0%	実績値		5.0		10.0		20.0		30.0		70	都市計画課
			の延沙率	0%	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	四味
			加士コース学のの数	R2	目標値		60.0		60.0		60.0		60.0	60.1	%	±n-=1
	O.	102 市街地の道路整備	都市計画道路の整 備率	59.7%	実績値		60.4		60.4		69.1		69.1		/0	都市計画課
			ν μ -	J9.1 /o	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		102 官民協働で行うまちづ	直近5年 の平均	目標値		3		3		3		3	3	件	都市計	
	O.	103 6円励圏で17 フェクフ くりの活動	0 14	実績値		1		3		3		2			画課	
			3件	評価	X	未達成	0	達成	0	達成	×	未達成		以上		
0101 交通空間と環境空間の全体配置が決定した。																
	R 3	O102 宇佐美駅前通線の廃L	上により分母が減少	したため整	怪備率が上	こがっ	た。									
		0103 松川推進協議会の事務	8局として清掃作業	等を行った	たが、新型		ナウイ	ノレン	ス感染症	拡大	の影響	によ	501件の	D活動となっ	た。	
		0101 概略設計が完了し、導	算入する施設やその	配置が概ね	決定した	=.										
		 0102 宇佐美八幡中里線及で	**ロナ原始の 並	處 止 工 生 士	にちせいち	_										
年	4	0102 于佐夫八幡中里稼及(プテ田人原緑の一部	発止于続き	さと進めた	_0										
		0103 松川周辺地区まちづく	くり推進協議会の事	務局として	清掃作業	镁等を	行った	-0								
度		 0101 事業地の用地測量及び	「不動産鑑定証価を	宝施オスと	ナキに	伊甫	配前点	t 是東	攻借計画	(季	E) [:]	1.17	住民部門	旧会を宝施し	,t=	
≣π	R	0102 長期未着手路線につい	1て、必要性・合理	性の再検証	Eを行った	- 結果	、宇佐	美丿	(幡中里	線、	芹田大	原終	の一部層	発止を行った	Ξ.	
То	R 0102 長期未着手路線について、必要性・合理性の再検証を行った結果、宇佐美八幡中里線、芹田大原線の一部廃止を行った。															
	0103 松川周辺地区まちづくり推進協議会の事務局として清掃作業等を行った。															
佃																
		0101 事業地の一部について	て、補償物件調査を	進めた他、	令和7年	F度当	初での)— <u></u> =	部用地取	得に	向け用	地交	を渉を実施	施した。		
	1	0102 長期未着手路線である	- 12 - 1 - 13 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	- 12 - 1 - 13 1 -		こおけ	る交通	量記	間査を実	施し	、その	通行	実態をE	明らかにした	こ上で	、次年
	6	度に住民説明会を行う				4 <u>55</u> +	·/= - +									
		0103 松川周辺地区まちづ<	、り推進協議会の事	務同としく	. 浦掃作第	手令と	:1丁つに	-0								

		地域特性を踏まえた	都市機能や生		指標数	0	0	1	2	1				
	02			達成状況	達成数	0	0	1	1	0				
		進			達成率			100.0%	50.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		。。。 都市機能誘導区域への			目標値	_	-	0	1	0	件	都市計		
	C	201 がは、	施設数		実績値	_		0	0			画課		
				※ 1	評価	_	_	_	× 未達成		以上			
		200 居住誘導区域への居住	 居住誘導区域外の		目標値	_	_	5	5	5	件	都市計		
	C)202	住宅開発届出件数	_	実績値	_	_	1	0			画課		
	0201 計画策定中のため実績値なし。令和5年4月1日策定公表予定。(策定時期がR4からR5に変更となったことから、R4の目標値をR 「一」に変更した。) 3 0202 計画等定中のため実績値なし、全和5年4月1日等定公表予定。(等定時期がR4からR5に変更となったことから、R4の目標値を													
	3 0202 計画策定中のため実績値なし。令和5年4月1日策定公表予定。(策定時期がR4からR5に変更となったことから、R4の目標値を「一」に変更した。)													
	B	0201 伊東市立地適正化計画	画を令和5年3月31	日策定公表	した。(令和5年度	からの評価。	となる)						
左	4	0202 伊東市立地適正化計画	画を令和5年3月31	日策定公表	した。(令和5年度	からの評価。	となる)						
恁	£	0201 伊東市立地適正化計區	S た会和に任つ日つ1	ロ笙庁小事	1.1= (/全和5年度	からの海田	`						
= :	Į F				(U/Co		.のり延用	,						
	5	0202 伊東市立地適正化計画	画を令和5年3月31	日策定公表	した。(令和5年度	からの運用)						
10	価 O201 新図書館の建設着手が原材料費高騰等に起因して遅延した。その後、令和7年5月末には図書館整備計画の白紙化方針が打ち出さ													
	F	O2O1 新図書館の建設着手が れたため、現行の都可							館整備計画の	の白紙化方統	計が打	「ち出さ		
	6	0202 居住誘導区域外での低 らの問合せ時に、届出			も、伊東	市立地適正	化計画の5	年毎の見直	し作業と合	わせ、不動	全事業	者等か		
	/ 1	今和に午時からの新担事業で												

					指標数	2	2	2	2	2					
	03	: 憩いの場の整備		達成状況	達成数	0	0	1	0	0					
					達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
			公園の改修等を求め	R2	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	%	都市計			
	03	301 公園・緑地の整備	る市民の割合(市民	18.7%	実績値	21.1	18.8	18.2	17.5		/6	調明			
			満足度調査)	10.176	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以下				
	0′	200 開発行為による緑地の	緑地の個所数	直近5年 の平均	目標値	1	1	1	1	1	箇所	都市計			
	1 mg 1 mg														
	R3 R	3 0302 完成した開発行為が無かったため実績なし。 0301 令和4年度は本郷公園に雲梯及びブランコを設置した。23都市公園のうち、遊具のある13公園の遊具を順次整備しており、令和4年度までに7公園の整備を行っている。引き続き遊具の設置等の整備を実施するとともに、計画や実績について情報発信を行っ													
年度	4	ていく。 0302 令和4年度に開発行為 しとなった。引き続き					を行ったが、	、年度内に知	完成した行為	多が無かった	こため	実績な			
		0301 令和5年度は杉本公園	のブランコとザイ.	ルクライミ	ングを更	新設置した	。また鎌田:	公園のブラン	ンコの塗装補	修を実施し	ノた。				
哥升	R 5	0302 年度内に完成した開発	発行為等が2案件を	った。											
佃		TOUCE TIXTURE OF THE PROPERTY		J/C.											
	R	0301 令和6年度は伊東公園 目標値に近づきつつに									た。				
	6	0302 年度内に完成した開発	発行為等は1案件あ	ったが、そ	の特性上	、緑地の確	産保の必要が	なかった。							

_												
					指標数	2	2	2	2	2		
	04	1 土地利用の健全化		達成状況	達成数	2	1	1	0	0		
					達成率	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		伊東市土地利用事業等 401 の適正化に関する指導	申請件数	直近5年 の平均	目標値	8	8	8	8	8	件	都市計
	04	#UI の週近10に関する指导 要綱に基づく指導	中間什数	8件	実績値	8	4	4	7			画課
		文順に至りて記号		ΟH	評価	〇 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
		400 宅地造成等規制法に基	· 一件 * 1	直近5年 の平均	目標値	0	0	0	0	0	件	都市計
	04	402 では近风寺が同点に至っている。	違反件数	〇件	実績値	0	0	0	1			画課
				U1 11	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成			
左 序 評 侃	F R 5	0401 土地利用事業の申請る指導要綱に基づく 0402 宅地造成等規制法に 0401 土地利用事業の申請る指導要綱に基づく 0402 宅地造成等規制法に	基づき指導を行って 件数が4件であった。 指導については、民 基づき指導を行って 件数が4件であった。 指導については、民 基づき指導を行って 件数が7件であった	おり違反力 ため目標値 間の土地利 おり違反力 ため目標値 おり違反力 ため目標値 おり違反力	には届かったには届かったには届かったには届かった。	なかった。 等の申請全性 E。 かなかった。 等の申請全性 E。	今後、防災 今後、防災 に対して行 今後、防災	っていく。 や生活環境(っていく。 や生活環境	呆全等、土地	也利用等の適	 重正化	に関す
	R	る指導要綱に基づく	指導については、民									
	6	0402 無許可の盛土が行わ	れ、是正を求めた。									

					指標数		3		3		3		3	3	1	
	25	景観に配慮したまち?	づくりの推進	達成状況	達成数		3		3		2		2	0	1	
					達成率	10	0.0%	10	0.0%	6	6.7%	6	66.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		501 伊東市景観条例に基づ	違反件数	直近5年 の平均	目標値		0		0		0		0	0	件	都市計
		501 <指導	连次计数	O件	実績値評 価	0	O 達成	0	O 達成	0	O 達成	0	O 達成			画課
	ام	502 静岡県屋外広告物条例	指導件数	直近5年 の平均	目標値		40		40		40		40	40	件	都市計
		こう に基づく指導	18-91T XX	40件	実績値評 価	0	40 達成	0	40 達成	0	40 達成	0	40 達成		以上	画課
		503 廃屋解体の撤去支援	補助金交付件数	直近5年 の平均	目標値		15		15		15		15	15	件	都市計
	0:	003 廃屋腓体の撤去又援	補助並父別件数	11件	実績値 評価	0	15 達成	0	15 達成	×	9 未達成	×	7 未達成		以上	画課
	R 3															
年	R 4	0501 建築物等に対し周辺野 0502 違反広告物の広告主等	環境と調和を図るよ	う色彩につ	いて指導	多を行	うった。									
度		O5O3 18件の申請があり、 付しなかった。	15件に補助金を	交付した。	残りの3	3件に	こついて	は、	取り下	げせ)廃屋認	定さ	されなかっ	ったことなる	どによ	り、交
		0501 建築物等に対し周辺斑			いて指導	多を行	うった。									
計	R 5	0502 違反広告物の広告主等														
佃																
	0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。															
	R 6	0502 違反広告物の広告主等	等に対し□頭指導を	行った。違	反広告の	D通報	受に対し	パト	ーール	と調	直を実施	施し	た。			
		0503 申請のあった7件に対 徐々に関心が高まる3		交付した。	廃屋対応	いの相	談件数	の推	移が低	調と	なって	きた	たが、相続	続登記等の第	義 <u>務化</u>	に伴い

		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	スた介の問の		指標数	2	2	2	2	2				
	C)6	する圧土回り	達成状況	達成数	2	1	0	0	0				
		作1寸 TEI木			達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		誰もが健やかに暮らせる	中層耐火構造住宅		目標値	4	7	14	26	39	一	建築住		
	(における住戸改良	_	実績値	4	· ·	11	13		<u> </u>	宅課		
		効率的かつ円滑な更新	の実施累計戸数	% 2	評価	〇 達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成		以上	Con		
			用途廃止の後に解	R2	目標値	3	3	3	3	3	戸	建築住		
	(0602	体・撤去した老朽	5戸	実績値	3		2	2		_ ′	宅課		
			住戸の戸数	% 3	評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	O D N		
		O6O1 長寿命化計画に則り予定どおり施工を行った。 R												
		R 3 0602 用途廃止がされている戸建住宅の解体を行った。												
	١,													
	-	0601 長寿命化計画に則り旅	ですななった仕田	法式に云っ	<i>t</i> =									
		R	3上で11つに柏来、	建成に主う	ا <i>ا</i> ده									
-	∓ ˈ	4 0602 集合住宅の用途廃止か	が無く戸建て解休に	密まったた	· か 達d	がには至らた	かった 今	後 各市党	住宅の状況	を分析1 / 自	配休せ	かまを		
		優先的に行う市営住宅		ш с У/С/С		VICIOT 270	x/3 //C. /		II 0001/7/70		J+ I/+' \-	JHX Z C		
J	隻_	0601 工事費の上昇により、	計画戸数を達成で	きなかった										
	亚山	R												
ı,	``	5 0602 戸建て解体に留まった	ため、達成には至	らなかった	。今後、	各市営住宅	この状況を分	析し、解体	や撤去を優先	先的に行うす	市営住	宅を精		
1	₩	査していく。												
		0601 工事費の上昇により、	計画戸数を達成で	きなかった	こ。引き続	き、各市営	住宅の状況	を分析し、	需要の多い	市営住宅を	憂先的	に改良		
		R を行っていく。						1				-t- t- det		
	(6 0602 戸建て解体に留まった	ため、達成には至	らなかった	。今後、	谷市営住宅	号の状況を分	析し、解体	や撤去を優先	先的に行うす	下営住	宅を精		
	·/ C	査していく。 2 会和3年度から実施する事業	でなり 甘油店は	レーたが	丹古士	古尚片夕目	主会ル社画	ニもハプロボ	ああたまげつ	コンマートか	\(\int_{-}\)	- to !-		

- ※2 令和3年度から実施する事業であり、基準値は一としたが、伊東市市営住宅長寿命化計画において目標値を掲げていることから、これに 合わせた。
- ※3 基準値は令和2年度の5戸であるが、退去が生じなければ実施できない場合があるため、各年度3戸以上の目標値としている。

						指標数	1	1	1	1	1		
() 7	空家	家等及び跡地の利流	舌用	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			東市空家等対策に向け		R2	目標値	5	5	5	5	5	,	7-1-1-1-1-1
	O		利活用促進に関する協 による市内の空家等の	利活用相談人数	2人	実績値	11	14	19	23			建築住宅課
			場への流通促進		2人	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	R 3	0701	伊東市空家等対策に限 取引業協会に流通促進			により、	空家等所有	者から利活	用の相談に	対し、公益	社団法人静 間	司県宅	地建物
年	R 4	取引業協会に流通促進を目的とした紹介を促した。 O701 伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、空家等所有者からの利活用の相談に対し、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会に流通促進を目的とした照会を促し、管理不全になる前の空家対策を図った。											
- 度評価	R 5	0701 伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、空家等所有者からの利活用の相談に対し、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会に流通保進を目的とした昭会を促し、管理不全になる前の空家対策を図った。また、空家相談会を開催し、利活用を											
	R 6	0701	伊東市空家等対策に 物取引業協会に流通例 促進した。								益社団法人 談会を開催し		

					+12+亜米5		0		2		_		_	0	1	
	೧೭	3 空家等の適正な管理等	キの世 生	·幸士(4):□	指標数		3		3		3 3		3	3		
	UC	2条号の過止な官注	守り推進	達成状況	達成数	66		66			3 0.0%	10	00.0%			
			管理指標	基準値	達成率		6.7% 33		6.7% R4).U% 35		R6	0.0% R7	出片	担当課
		主な内容	官连拍标		目標値		2	Г	2	Г	າວ 2		2	2	半四	担当味
		町内会や分譲地自治会 801 と連携した空家等の情	合同調査回数	ΠZ.	実績値		3		5		 8		3			建築住
		BOT と連携した至然等の情報収集		1 🗆	評 価	0	達成	0		0		0	達成		以上	宅課
		TIA-IAZIC		R2	目標値	0	15.0	O	15.0	<u> </u>	_{建成} 15.0	0	15.0	15.0		
	Os	802 所有者等に対する啓発	通知後の所有者か		実績値		30.0		28.0		51.9		58.8	13.0	%	建築住
		302 及び情報提供	らの相談率	13%		0		0		0		0	達成		以上	宅課
					目標値		1	0	1		1	0	1	1	-	
	OS	803 相続時の専門家相談の	相談会開催回数	_	実績値		0		0		1		1	<u>'</u>		建築住
		検討		% 4	評価	V =	未達成	× =	•	0	<u>'</u> 達成	0	達成		以上	宅課
		0801 町内会や分譲地自治会	 ≳と連携した空家等						る合同)	,		W.T.	
			10x1/30/01x3/3	~ N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	.,	- ` _			اقال			0,0	.0			
	R	0802 調査回数を増やしたる	こともあり、空家等	所有者から	通知後0)解決	に向け	た相	談は大	幅に	3標値	をト	回った。			
	3		22 309 9 (22.3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~	- /3 //		, , ,		. — с						
		0803 相談会開催については	は、負担金の予算が	なかったた	め開催す	するこ	とがで	きな	かった	。今往	後も引き	き続	き負担金	金の予算を要	要求し	相談会
		の実施を目指す。														
		0801 町内会や分譲地自治会	会との連携を増やし	、空家等の	情報収集	[につ	いて、	目標	値を上	回るâ	合同調	査を	実施した	i.		
_	R	0802 調査回数を増やしたる	ことで、空家等所有	者から通知	後の解決	よには	けた相	談で	目標値	を上[回るこ	とが	できた。			
4	4		1 AHAAZŒW	++ ++			1-41-	·	+> + -	- 4"	~ TD = /		·14 - 2 ***=	11 + 1 + +	- +- \+	+===
		0803 相談会開催については 会を実施する。	る、負担金の予算か	なかつにに	(V) 開催 9	10C	ことかで	いさい	かった	<i>ا</i> لرر	での呼ば	中区	は予算記	オエかできん		、怕談
度	Ę	0801 町内会や分譲地自治会	シとの油堆た大幅に	抽か1. 丸	完生のほ	트 큐 C II T	作につ	11.17	一一一	店た	上向る	<u> </u>	ができた	=		
		080 则内安心力该地自治之	300座振る八幅に			ヨギ以4ン	未にノ	, v i C	、 口 信	世 る。	口口の		.D. CG1	C 0		
≡ก	R	0802 所有者等に対する通知	①文書を複数回送付	したことで	、通知後	か可	有者か	らの	相談率	が大巾	副に上	回る	ことがで	できた。		
54	5	71323.233332.2		0,000	. ~				100% 1	, , , , ,	w			. 0,00		
		O803 専門家による無料の空	空家相談会を開催で	きたことに	より、戸	有者	が抱え	.る様	々な問	題•	果題に	つい	て、専門	門家の助言に	こより	解決し
個	j	た事案が増加した。														
		0801 町内会や分譲地自治会	会との連携を増やし	、空家等の	情報収算	[につ	いて、	目標	値を上	回っ7	こ 。					
	R 6	0802 所有者等に対する通知	印文書を複数回送付	したことで	、通知後	色の所	有者か	らの	相談率	が大る	きく上	昇し	た。			
		0803 専門家による無料の3	空家相談会を開催で	きたことに	より、別	有者	が抱え	る様	々な問	題•	果題に	つい	て、専門	門家の助言に	こより	解決し
	7 1	た事案が増加した。 令和3年度以降に県と連携し	(中本士での門) サイ	EBN / 🖘	1フナの	マキ ·	M -1	h ±-	不由长口	71	tal \ -		<i>5</i> ,	*	1 +	

※4 令和3年度以降に県と連携し、伊東市での開催を見込んでいるものであり、これまで実施していないことから、基準値を一とした。

					指標数	1	1	1	1	1				
	0	9 伊東市営天城霊園の	整備推進	達成状況	達成数	1	1	1	1	0				
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
				R2	目標値	20.0	40.0	60,0	80.0	100,0	%			
	(0901 合葬施設等の整備	整備の進捗割合	0%	実績値	20.0	50.0	60.0	80.0		/0	市民課		
				0 %	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
	11.5													
1	手 度 全	3 R 0901 第3期計画の実施計画を基に、合葬式墓地を建設した。												
Ē	平F		 始するとともに、	園内整備に	ついて指	定管理者と	協議し、経	年劣化に伴	う芝生墓所の	の芝張替え等	手の次	年度実		
1	5													
	F								ターロッキン	ング舗装)の	の整備	を行っ		

担当課		都市計画課			施策3-60	の全指標達成	戊率	
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	6	公共交通体系の充実	指標数	15	15	15	15	15
日担才次	z	市民、観光客等にとって持続可能な地域公共交通	達成数	8	7	8	10	0
	が確保・維持されている	達成率	53.3%	46.7%	53.3%	66.7%	0.0%	

	<u> </u>	-							•	
			指標数	2	2	2	2	2		
1 1	対果指標(KPI)		達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
← =	「バス・鉄道などの公共交通対策	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標		R2	目標値	37.0	-	41.0	43.0	45.0	%	都市計
1 1	合(市民満足度調査)	35.3%	実績値	34.4		30.1	25.8		/0	画課
•					× 未達成				以上	
目標										
の	おいて、バス、電車の減便があるなか35	5.3%と上	昇傾向了	である。満	足度調查網	き果を基に	10%の上昇	昇を見込み	45%	6とし
考え	う た。									
# F		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標	が足、暗豚ハヘ、ノマノド又迅、	R1	目標値	8,651	8,651	8,651	8,651	8,651	エレ	都市計
1815	りタクシーの年間利用者数	8,651千人	実績値	4,658	5,900	6,508	6,805			画課
_		0,00117	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
目標							利用者数	の減少が懸	念さ	れる
の	ところ、利用促進等の取組による年間利	用者数の維	詳持を見	込み、現場	伏維持とし	た。				
考え	<u>ל</u>									
	1 (実績評価)・伊東市地域公共交通計画で	市内路線バ	スの維持	、見直しの	検討や地域	公共交通の	確保、充実、	利用促進に	向け	た取組
	を行った。									
R 3	(次年度修正点)・地域公共交通の確保、維持	、充実に向け	け利用実	態を把握し	、利用促進	に向けた取得	組等を行う。			
年	2 (実績評価)・利用促進に向けた取組とし	て. 交通系	Cカード	道入補助.	タクシー車	面の購入補品	助等を行った	=		
度			0/5	-57 (110 <i>P</i> 3)	<i></i>		20 C 13 D 10	_0		
	(次年度修正点)・継続した運行の確保、維持	したうえで	利便性	の向上を図	っていく。					
			151212	·//512 CE	12 (0.00					
	1 (実績評価)・伊東市地域公共交通計画で	市内路線バ	スの維持	・見直しの	検討や地域	公共交通の	確保、充実、	利用促進に	向け	た取組
	を行った。									
R	(次年度修正点)・地域公共交通の確保、維持	、充実に向け	け利用実	態を把握し	、公共交通	体系の見直	しや利用促進	性に向けた取	双組等	を事業
4	者と共に進める。									
年	2 (実績評価)・利用促進に向けた取り組み	として、現	状の把握	、運行本数	はやルートの	見直し等を	事業者と行っ	った。		
度										
	(次年度修正点)・継続した運行の確保、維持	に努めると	ともに、	公共交通体	糸の見直し	等を行い利何	史性同上を図	図っていく。		
		そかたさる	歯口のち	. w n ¬ = -	フェを供え	年 - 七				
	1(実績評価)・交通空白地の分譲地等の自	土的な父連の	唯保のだ	(W)(W) <	アル発偏を	仃つに。				
	(物生産校工者)・大吉の六済中能やニーブを	77./F L	h 古 ** =	されたの判用	i カズム	±∈1 ıV.m.:	たいせかる+	+ レフ^	* II	+
R	(次年度修正点)・本市の交通実態やニーズを し、伊東市地域公共交通計画			うらのが正	ナータでガ	竹し、必安	3公共父連!	ノーヒスレハ	いかさ	快副
5 年	2 (実績評価)・利用促進に向けた取組とし			行木粉わり	一トの目店	.空を重業	老と継続1.7	で行ったほか	<u>,</u> 市	内の少
度	共交通マップを配布した。	C. JEAN (1)	「口」注、 注	当人本教 (ツル	一下仍先巨	し守る事業		C1J 2/C1&/J	ı, ıb	
~	(次年度修正点)・公共交通の一層の利用促進	のため フェ	マホ等と	・油動した利	価性の喜い	市内心共会	ヨマップの4	た成を行う△	~	調杏研
	究を行うほか、デマンド交通						也 マンフの	FIXでIJ フ·	'''	
	1 (実績評価)・令和12年度までを計画期						空白地域の触	産消に向け.	民間	事業者
	と地域の交通事業者が連携し								-41-0	3 2.2 0
								-		
	(次年度修正点)・民間事業者による実証事業	を継続して	支援する	ほか、市と	して交通空	白地域に対す	する考え方や	か新たなモヒ	ごリテ	ィの必
	要性について解像度を高め、	公共交通の	現状を市	民と意識共	有していき	たい。				
D	・未達成の要因としては、路	線バスの運	賃値上げ	「や減便を伴	うダイヤ改	正など、公芸	共交通のネカ	ヴティブイメ	くージ	が先行
R 6	しているものと考える。									
年	2 (実 績 評 価) ・路線バス事業者が新たなwe	ehサービフ	を導入し	たことで	時刻表やハ	スロケーシ	ョンサービュ	スの使い勝目	Eが?な	善され
度	たほか、タクシー各社も配車	アプリを導	入するな	だ、DX化I	こよるユーサ	デビリティ向	上が図られ	ている。	, ,, ,,,	
	2.2 000									
	(次年度修正点)・運転士不足の中、利便性を						直しを行うは	まか、スマホ	7連動	型の交
	通マップの制作も進め、分か					-	四年 5 十	\		
	・未達成の要因としては、人	口減少や旅行	行需要の) 低下、自動	軍を保有す	る市民が、	重賃の高い公	公共交通の利	川用を	回避す
	る傾向が強いと推測する。									

					指標数		13		13		13		13	13		本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数		8		7		8		10	0		・主な内 の達成状
					達成率	(31.5%	5	3.8%	6	1.5%	7	6.9%	0.0%	況	
					指標数		2		2		2		2	2		
(D1	交通結節点の利用環境	竟の向上	達成状況	達成数		2		2		2		2	0		
					達成率	1	00.0%	10	00.0%	10	00.0%	10	20.00	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		404 乗り場案内や乗継案内		R2	目標値		1		1		1		1	1	箇所	都市計
	0	101 などの表示改善	表示改善数	1 箇所	実績値		1		1		1		1			画課
		0.0.5 \$1.5.0			評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		100 鉄道と路線バス、路線	 鉄道・バス事業者	直近5年 の平均	目標値		3		3		3		3	3		都市計
	O'	102 が足と 日禄 八人、 日禄 102 バス同士の接続の向上	との協議回数		実績値		3		3		3		3		_	画課
				30	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		O1O1 伊豆高原駅改札前の	デジタルサイネージ	を利用した	乗場案内	等	のサーヒ	ごスを	を提供し	た。						
	R															
	3	0102 路線バス事業者と交通	通結節点の利用環境	の向上につ	いて協議	歳を	行った。									
		0101 伊豆高原駅改札前の	デジタルサイネージ	を利用した	乗場案内	等	のサーヒ	ごスを	を提供し	た。						
_	R 4															
+	4	0102 路線バス事業者と交通	通結節点の利用環境	の向上につ	いて協議	歳を	行った。									
度																
		0101 伊豆高原駅改札前の	デジタルサイネージ	を利用した	乗場案内	3等	のサーヒ	ごスを	を提供し	た。						
評	R			001150		¥ -	<i></i>									
価	5	0102 路線バス事業者と交流	囲結即点の利用 境項	の回上にっ	かく 協語	歳と	行つた。									
	R	0101 伊豆高原駅改札前の	デジタルサイネージ	を利用した	乗場案内	等	のサーヒ	ごスを	を提供し	た。						
	6	0102 伊豆高原駅での、オー について路線バス及び								でノ	パークア	ンド	・ライドル	こ係る駐車料	4金等	の問題

					指標数		2		2		2		2	2		
()2	2 公共交通体系の再構築	築	達成状況	達成数		2		2		2		2	0		
					達成率	10	00.0%	10	0.0%	10	00.0%	10	00.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3	F	R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		201 市内路線バスの維持・	バス事業者との協	直近5年 の平均	目標値		3		3		3		3	3		都市計
	02	201 見直し	議回数	3回	実績値		3		3		3		3			画課
				00	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
	01	202 広域路線バスの維持・	バス事業者との協	直近5年 の平均	目標値		3		3		3		3	3		都市計
										画課						
	図201 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。 O202 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。 O203 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。															
年	+															
度評		O201 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。 O202 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。														
価	R 6	0201 バス運転士不足に伴ま 実情把握に努めると 0202 自主運行バスにおいる	ともに、減便によっ	てバス運転	土の労務	改善	善に寄り	した	.0							
		に運行の見直しを行う	う旨合意した。													

					指標数	3	3	3	3	3	1	
(03	3 地域公共交通の確保	• 充実	達成状況	達成数	1	0	1	1	0		
					達成率	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R2	目標値	2	3	4	5	6	件	都市計
	03	301 父週空日地域の解消に 向けた取組	取組支援件数	2件	実績値	2	2	4	5		+	調理
		同りた式温			評価	〇 達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		別荘地等が主体となり		R2	目標値	2	3	4	5	6	件	都市計
	03	302 運行する生活交通への	取組支援件数	2件	実績値	1	1	2	2]	画課
		補助				× 未達成			× 未達成		以上	
		ooo UDタクシー車両の購		R2	目標値	3	3	3	3	3	台	都市計
	03	303 入補助	補助件数	1台	実績値	1	1	1	0			期課
				_			× 未達成				以上	
		0301 伊豆高原地域交通利便	更性向上検討会に参	加、伊東マ	ンション	/地区の今後	の移動手段	に関するア	ンケートの	作成や集計等	等の支	援を
		行った。										
		0302 伊豆高原地域交通利便			交通の実	ミ証実験に向	けた支援を	行ったが、	その他の別す	生地等による	る運行	に向け
	3	た活動が無かったたと										.=
		0303 UDタクシー導入促送		購入補助((1台) を	を行った。3	事業者から	申請を受け	交付決定した	こが、2者だ	から辞	退の申
		し入れがあり1台のネ		+- /n		- III	, , 10 = 1 = 10		- L = /	.tm.=++-%-	٠ ۸	///
		O3O1 伊豆高原地域交通利例 いて意見交換等の支持										
		今後、地域の活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活動を活			日地以刊	ずによる)生1、		以の心面動力。	無力・フルル	UZI+UXI	えこる	اره
					ナマクロ	記事形の士		がっての出	クロニナナルなり	ニトフをだり	<u>- ⇔ı</u>	ナンエチャ
年	R	0302 伊豆高原地域交通利便が無かったため1件の	史性内上快討芸に参)支埃となった。今:	が別、新たは 終しは共物	父囲のま	ミ証美験の文 注組し去採	な抜を仃つに た広げてい:	か、その他 きたい	の別壮地寺に	こよる理仃に	راوار	に活動
	4	// // // // // // // // // // // //	又」反しなった。 ノ	מידונות יא	いい口動で	/工/元 レス)及	ZIZIT CVII	C/LV 10				
		0303 UDタクシー導入促送	進事業として車両の	購入補助((1台) を	行った。						
度												
)SQ			**************************************		/n=÷/	- 11 L 1 - L 1 - T 1 - T 1		=101=41=	1 + 17 + 1	L A式 Mマ \力 \++ e	5 ₹ \ \ (E	+- 0 +0
		0301 伊豆高原地域デマント	や型乗台タクジー結	果梗証会、	伊豆局原	思地域父通机] 便性问上颅	討会に参加	したはか、	八幡野漁港	ヨ虭連	軸(の)祝
		察を行った。	NEW # 4 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		/n=±/	-11L1++1777		=101=41=	1 + IT + -	<u> </u>	, L. C	(A) (E) (E)
評	R	0302 伊豆高原地域デマント に関する相談に対応し		果快訨云、	伊豆局原	R地 以 父迪和] 使性问上快	討会に参加	しにはか、)	4.善フント!	也区 C	の連行
	5	- C関する相談に対応し 0303 UDタクシー導入促送		. R	(14) 5	こにった 19	またエスロか	加压古咪 笙	ナちってかん	ロカン 古も	サ ≠か	この道
		0303 00タグシー導入促進 入希望がなかったこと	生争来として早間の ヒもあり 今和6年	陳人開助(きけ予管化	こしばんで	だいが 今	経 改めて	初	もめつてから ―道入補助に	メクンニ 事 詞 「ついて車業	表白ル	対し国
価		知しつつ、次年度に同				1001100	iz tuto C	00)))	サバ油切に	- フいてサオ		رواری و.×
100		0301 赤沢地区におけるデ				と交通情報	系企業が地	域と連携し	て行った荻は	地区、岡地区	ヌ、伊	豆高原
		(すいらん・親和会)								J_(1 J- J-	_, ,	JII -5 // 5 1
		新たな地域公共交通記								て、地域での	の機運	醸成等
	R	⁰³⁰² の契機につなげたいと	との意向を受け、市	内での先進	事例とし	して取材し、	計画に掲載	した。八幡	野以南の別域	生地は自治症	会等で	シャト
	6	ルバスを運行している					自の移動支	援サービス	を提供してい	ハるが、当詞	亥エリ	ア以外
		は互助での事業が進る	まない現状があるた	め、その要	因も検証	としたい。						
			,(事業休止) 今	在度 タク	シー宝業	*者からの要	望等はなか	った。				
				T/X())	<i>→</i> → →		エカルがり	J,C.				

	∩ 4	利用収集に向けた取る	(D	*************************************	指標数	4	4	4	4	4		
	J4	- 利用促進に向けた取組	∄H	達成状況	達成数	•						
		きた内 節	左T用+比+而	基準値	達成率	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	24 J.L.	+D \V = B
		主な内容	管理指標	全 华他	口+西/末	R3	R4	R5	R6	R7	₽1∪	担当課
		40.4 (() 0.0±±1.1± 0.75±1.	作成及び最新版の		目標値	1	1	1	1	1		都市計
	U2	4O1 総合時刻表の作成	維持(更新)	_	実績値	1	1	1	1			画課
				*	評価		〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		402 ントなどの実施		R2	目標値	2	2	2	2	2		都市計
	Ο	402 ントなどの実施	実施回数	20	実績値	0	0	1	2			画課
		7 1 10 C 97 7 C 10 C		j J	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以上	
		垂りを教室などのくが		R1	目標値	2	2	2	2	2		≠n ± =⊥
	O	403 乗り方教室などのイベ ントの実施	実施回数	20	実績値	0	0	1	2			都市計画課
		クトの夫心		20	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	〇 達成		以上	四味
				R1	目標値	2	2	2	2	2		+
	O	4O4 カ	周知回数	0.	実績値	0	0	1	1			都市計
		+04 方の周知		20		× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	画課
		0401 総合時刻表の作成とし	て、公共交通マッ	プ(伊東駅								
				- (1)								
		0402 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、実施	を見合れ)せた。						
	R	0.02 1012 - 0.00	20/10/E1/E2/	0.21.200	, = , 0 = 1.	2,20						
	3	0403 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、乗り)方教室σ	開催を中止	した。					
			3		, , , , , , ,							
		O4O4 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、乗り	方教室σ	開催を中止	した。					
		0401 総合時刻表の作成とし	して、公共交通マッ	プ(伊東駅	周辺・伊	豆高原駅周	辺)の改訂	版を作成し	た。			
		0402 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、実施	を見合れ)せた。今後	、伊東市地	域公共交通	計画に基づる	き事業者と協	な働し	実施し
	R	ていく。	3					7,-1, 1, 1,-				7 1.00
缶		0403 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、実施	を見合れ)せた。今後	、伊東市地	域公共交通	計画に基づる	き事業者と協	タ 動し	実施し
		ていく。										
		O4O4 新型コロナウイルス原	感染症拡大の影響に	より、乗り	方教室σ	開催中止に	伴い未実施	。※もくい	< · PINA ·	ICカード等	のチ	ラシ配
		布による利用促進ツー										
度		0401 公共交通マップ(伊東										
		0402 市内高校統合に伴い、	バス事業者と連携	して、高杉	生に向に	ナモビリティ	マネジメン	ト(バス利	用説明会)を	を実施した。		
=π	R			, , , , , ,								
ō†	5	0403 バス事業者と合同で親	乗り方教室(湯川保	育園)を実	施した。							
		0404 バス事業者と連携して	て、高校生に向け利	用促進ツー	-ル(バス	ス時刻表アプ	リ)の利用	方法を周知	した。			
佃					•							
		0401 ダイヤ改正等を行う原	まに、総合時刻表を	作成し、ホ	庁舎や伊	東駅、伊豆	高原駅に配	架した。				
		0.0.3.1.4AE3.213.22	2.27	11770	,5 🚨 ()	714.074	.1-5% (1-6	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
		O4O2 伊豆伊東高校において	て、新たなモビリテ	ィとして注	日される	い雷動キック	ボードに係	る法規研修	や試乗会を	実施。また別	各線ハ	て事業
		者も当該高校にて職業										7,57
	R 6											
	0	0403 従来の乗り方教室の他					·」(県内小	学生を対象	とした乗車舗	無料デー)に	二対し	、路線
		バス事業者が参加し、										
		O4O4 路線バス事業者が令和									信を	ううこ
		とで、利用促進と周知			の広報の	中で行う機	会や媒体が	少ないが創	意工夫を行っ	っていく。		
*	=	合和3年度からの新規事業のだ	きめ、基準値を一と	した								_

	05	る 観光移動での利用促進	進	達成状況	達成数	2	2	2	2	0					
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		- 親光周遊の促進に向け		R2	目標値	1	1	1	1	1		都市計			
	O!	501 に取組	取組回数	1 🗇	実績値	1	1	1	1			調課			
		/C4//III			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上				
		-00 観光に役立つ情報の提		R2	目標値	1	1	1	1	1		都市計			
	O!	502 供	提供回数	1 🗇	実績値	1	1	1	1			画課			
					評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上				
		3 O5O2 伊豆高原駅改札前のサイネージ端末を利用した遠隔接客等による交通・観光情報の提供を行った。													
	3	3 0502 伊豆高原駅改札前のサイネージ端末を利用した遠隔接客等による交通・観光情報の提供を行った。													
		0501 伊豆高原駅改札前に遠隔接客等のサービスを導入した端末を設置した。													
		0001 伊豆高原駅以外削に返	退啊技各寺のサービ	人を与入し	バン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は回した。									
年	R 4	O502 伊豆高原駅改札前のt	+イフージ能士を利	田した清陽	逆安空に	上ス六涌・	粗米情報 で	埋供を行っ	<i>t</i> =						
		0002 ア立同原制成作品の方	ノーヤーン 馴不 で心	用した趣味		るの文庫・	E式JUI日刊XV。	ルドでロフ	/Co						
恁	<u> </u>	 O5O1 伊豆高原駅改札前にお	がいて、デジタルサ	イネージ端	末を設置	11. 交通•	観光情報の	提供を行っ	<u></u>						
≣ī	R		00.00	1 1 2 40			END OHSTINGS	JAC 17 C 13 2	, C 0						
U	5	O502 伊豆高原駅改札前にあ	Sいて、デジタルサ	イネージ端	末を設置	し、交通・	観光情報の	提供を行っ	<u> </u>						
偛	5														
		O5O1 伊豆高原駅改札前にお	ないて、デジタルサ	イネージ端	末を設置	置し、交通・	観光情報の	提供を行っ	た。						
	R														
	6	0502 伊豆高原駅改札前にお	いて、デジタルサ	イネージ端	末を設置	置し、交通・	観光情報の	提供を行っ	た。						

指標数 2

担当課	建設課			施策3-70	の全指標達成		
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 7	道路環境の整備	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	市域において円滑・安全・安心・快適な道路環境	達成数	9	8	6	6	0
日担分安	が維持できている	達成率	56.3%	50.0%	37.5%	37.5%	0.0%

度報												
選成率 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%												
成果 指標 1 目標値 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
日標値 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立担当課											
日標値の表表が 日標値の変成には至らなかった。 日標値の表表が 日標値の変成には至らなかった。 日標値の達成には至らなかった。 日標値の達成に至らなかった。 日本の主に表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表												
日標値の表え方 成果 指標	建設課											
成果 指標 幹線市道の整備率 日標値 96.7 97.2 97.7 98.1 98.5 95.7% 単純 中線市道の整備率 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 95.7% 実績値 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 96.2 第7 6 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1												
大学校のでは、	確に対											
基準値 R3 R4 R5 R6 R7 軽性 R1 日標値 96.7 97.7 98.1 98.5 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2												
日標値 96.7 97.2 97.7 98.1 98.5 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.7 97.7 98.1 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 96.2 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.7 95.1 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 95.9 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2												
日標値 95.8 95.9 96.2 96.2 96.2 96.7 97.9 96.5 96.2 96.2 96.7 97.9 96.2 96.2 96.2 96.7 97.9 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2 96.2	立 担当課											
1 (実績評価) ・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の違成には至らなかった。 次年度修正点 ・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 1 (実績評価) ・市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点 ・ 大変の ・ 大変の	7===0.=@											
日標値の表え方	建設課											
日 1 (実績 評価)・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。												
1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。												
1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点) ・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実 績 評 価) ・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点) ・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点) ・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実 績 評 価) ・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点) ・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点) ・おり強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点) ・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実 績 評 価) ・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
(次年度修正点) ・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実 績 評 価) ・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点) ・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。												
2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・・・ できたが、日標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・・ できたが、日標値の達成に至らなかった。												
2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	マン・・スラエボ スだ手シン・60・17にといい自由ではたは、10には、10には、10には、10には、10には、10には、10には、10に											
(次年度修正点) ・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実 績 評 価) ・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。												
日 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
た。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績 評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。											
た。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績 評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
R 4 年度 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績 評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	うなかっ											
2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	(次年度修止点)・父連量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、 良好な道路環境を目指す。											
度 (次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績 評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績 評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	(中、集前、原、)、中地町伊田機等だいかけ、動併を行ってとがったが、中様にあったボースともか。た											
(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
R 1 (実績評価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至った。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
た。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
た。 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	1 (字 結 郭 価) • 市民からの要切に対し迅速が対応に努めたが、炎娘樹木の樹木による重要が多物なり、日煙店の姿式には至らなか。											
R 5 (次年度修正点)・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。	J/6/3 J											
5 年度 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
年 2 (実績評価)・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。												
度												
(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、丁事着手を目指す。												
VI I A IV	(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。											
1(実 績 評 価)・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の枝落下による事故等があり、目標値の達成には至	うなかっ											
た。												
R (次年度修正点)・市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。												
年 2(実績評価)・幹線市道の拡幅改良などの工事が実施できず、目標値の達成には至らなかった。 度												
(次年度修正点)・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。 												

						指標数達成数		14		14 8		14		14	14		本的な取 ・主な内
2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)							6	<u>9</u> 64.3%	5	8 7.1%	4	6 12.9%	4	6 2.9%	0.0%	· 空	が達成状 況
				指標数		6		6		6		6	6				
1	01	円滑	な道路環境の整備	達成状況	達成数		2		2		1		1	0			
			主た内 宓	管理指標	甘淮店	達成率	Ć	33.3% R3	3	3.3% R4	1	6.7% R5	1	6.7% R6	0.0% R7	出片	担当課
			主な内容	官埕拍標	基準値 R1	目標値		1 H3		<u>K4</u> 1		1		1 1	1	単Ⅲ	担ヨ誄
	0	101 道路	各交通量の把握	交通量調査実施回		実績値		0		<u>_</u>		0		0	!	- 🗆	建設課
	ľ			数	00		X	未達成	0		×	未達成	X			以上	202011
			キのシロにサナスナ	道路整備について	R2	目標値		47.9		48.4		48.9		49.4	49.9	%	
	0		道の利用に対する市 D声の把握	満足している市民	47.4%	実績値		45.4		44.4		41.8		40.2			建設課
	L			の割合			X	未達成	×		×		×			以上	
		400 幹絲	象市道の計画的な整	整備延長	R1	目標値		89.3		89.8		90.2		90.7	91.2	km	7±1=0.=m
	0	103 備		(累計)	88.4km	実績値評価	\	88.5	~	88.6	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	88.9	\ <u>\</u>	88.9		以上	建設課
					R1	目標値	X	<u>不连风</u> 1	X	<u> 不達成</u>	X	未達成	X	未達成 1	1	以上	
		104 渋湯	帯の緩和対策の検討	県への要望回数	111	実績値		1		1		1		1	'		建設課
	ľ	101 ////		(要望書として)	1 🗆	評価	0		0	達成	0	達成	0	達成		以上	是成体
	Г				R1	目標値		96.7	Ť	97.2		97.7	Ť	98.1	98.5		
	0	105 円汽	骨な交通のための道 網整備	幹線市道の整備率	OF 70/	実績値		95.8		95.9		96.2		96.2		%	建設課
		北台水	内笠岬		95.7%	評価	X	未達成	×		X	未達成	X	未達成		以上	
					R2	目標値		0		200		200		200	200	m	
	0	106 移信	主定住促進道路整備	年間整備延長	Om	実績値	_	7		0		0		91			建設課
		0404			士曲歩に	評価	0	達成	×	<u></u> 未達成	×	未達成	×	未達成		以上	
		_	新規改良事業が無いた				こt#	半したか	Ϋ́ F	コ畑値の	/辛 E	おにけ至	is t	たかった			
	R	0102 市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。															
	3																
		0105 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。															
		0106 各自治会の年次計画に沿って、交差点部の薄層カラー舗装を実施した。															
		O1O1 交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施した。															
		0102 市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。															
		今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。 O1O3 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。															
	R	へがも 中央 かいしょう おかい とうかい とうしょく															
	4																
		O105 用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。															
年		今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。															
•		0106 各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。															
		今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。															
		O1O1 新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。今後も円滑な道路環境の整備のため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。															
度			市民からの要望に対し	ノ迅速な対応及び幹	線道路等σ)整備を推	ŧ進	したが、	目标	票値の達	成に	こは至ら	なた)つた。⁴	今後も用地配	#保口	能な筒
			听から整備を進めてい												2 21 27 3 2		
	R		用地取得困難箇所以外	Nは、整備を行うこ	とができた	たが、目標	票値	の達成に	至	うなかっ	た。	今後も	用比	確保可能	能な箇所から	ら整備	を進め
≡π	5		ていく。														
ōĦ			国道135号の川奈・										<u>шт</u> .	ᅜᄧᄱᄀᆖᅺ	***	- 末5 /土	+ V+ v4
		,	用地取得困難箇所以タ ていく。	小は、整備を行つこ	とかぐさん	こか、日標	則	100達放に	- 至 5	っなかっ	た。	ラ後も	用攻	9雄保 9 月	能は固別から	つ整備	を進め
			といく。 各自治会の年次計画に	こいって 移管手続	きを進めた	・が 宝旅	¥1.	至らず	東女石	詰をす る	 ,	ーができ	たナ	Nった s	今後4.冬白	스슬스	調敕を
佃	i		続けながら整備を進め			_/3 、	ے او	·	<u>те</u> //	н с э о		_/3 CC.	0.70	, J/C°			. UIGHE C
		0101 \$	新規改良事業が無いた	こめ、交通量調査は	未実施とな	なった。今	後	も円滑な	道道	各環境の	整個	前のため.	、 玄	を通量の	多い狭隘道路	各の交	通量調
			査を実施する。														
			市民からの要望に対し		線道路等の)整備を推	ŧ進	したが、	目柱	票値の達	成に	こは至ら	なた)¹った。 <u>*</u>	今後も用地配	催保可	能な箇
			所から整備を進めてい 幹線市道の拡幅改良な		** •	動向の達点	\	け至らた	5 11 -	った 今	· 丝 ±	二半上八子会	<u> </u>	計析之法	た行い 丁雪	巨羊子	た日世
	R		件級11207½幅以及で す。	まこの工事が天旭 (69、日 物	に回り達り	な に	は土りる	L/J	ノに。ラ	友で	いたりま	\ н	地文沙尔	⊄1 JV I、 ⊥≣	甲目士	-ZE18
	6		国道135号の川奈・	・吉田地区間及びハ	幡野地区 の)交通渋滞	静解	消のため	(の)	要望を行	った	Ē.					
			幹線市道の拡幅改良な	などの工事が実施で	きず、目標	標値の達成	以に	は至らな	かっ	った。今	後も	5粘り強	<月	地交涉	を行い、工事	事着手	を目指
			す。 		(. 												
		0106 8	各自治会の年次計画は	_冶つ(、移管済路	線の側溝改	以民を実施	也し	バこ。									

		学の佐乳をつなれた	######################################		指標数		6		6		6		6	6]	
(O2 道路施設等の適切な維持管理の推 02 進				達成数		6		6		5		5	0	1	
					達成率	1C	0.0%	10	00.0%	8	3.3%	8	33.3%	0.0%	1	
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		吸表の砂場等記答の日	学の1010 11中	R1	目標値		24		24		24		24	24		
	02	201 路面の破損箇所等の早 期発見・早期補修	道路パトロール実施回数	240	実績値		28		26		26		24			建設課
		がたれ 一般間	旭巴欽	24민	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		送吸が10 11年に上		R1	目標値		100		100		100		100	100	%	
	02	202 道路パトロール等による マ早期発見・早期補修	修繕等の処理率	100%	実績値		100		100		100		100		/0	建設課
		3 十两元元 十两间间		100%	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成			
		はは目ま会化のための		R1	目標値		1,873		2,373		2,873		3,373	3,873	m	
	02	203 舗装長寿命化のための 計画的な修繕(累計)	修繕延長		実績値		4,040		4,786		5,343		5,792		m	建設課
		1回5%同点(糸口)		1,373m	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
			防護柵、標識等の	R1	目標値		2		2		2		2	2	件	
	02	204 交通安全施設の設置	交通安全施設設置	2件	実績値		4		4		3		4		+	建設調
			工事発注件数	Z I T	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		学のたちのとま会に		R1	目標値		41		46		51		56	61	! 呑	
	02	205 道路施設の長寿命化 (累計)	修繕橋りょう数	0.4 括	実績値		42		49		50		51		橋	建設調
		(糸町)		21橋	評価	0	達成	0	達成	X	未達成	X	未達成		以上	
				R2	目標値		1		1		1		1	1	-: +	
	02	206 先進技術の活用	活用工法数	0.7.2	実績値		1		1		1		1		工法	建設調
				O工法	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
	O2O5 同一地域でまとめて発注することができたため、計画を上回る実績とすることができた。 O2O6 ICT土工(情報通信技術)を取入れ、施工効率の向上を図った。 O2O1 月2回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。 O2O2 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。 O2O3 城ケ崎線舗装改良工事にて、延長L=745.5m施工を行い、目標値を達成することができた。 O2O4 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。											ict				
		0205 同一地域でまとめて教	発注することができ	たため、計	画を上回]る j	₹績とす	る	ことがで	きた	=					
昱		0206 道路反射鏡の基礎工	こおいて、ポールア	ンカールー	-ツを取り	(れ、	施工效]率(の向上を	図 -	った。					
		O2O1 月2回の定期パトロー り、危険箇所等の把抗		い、早期発	見・補修	多を行	ううこと	がつ	できた。	また	こ、大雨	時に	こおける/	パトロールの	の実施	によ
T.		0202 速やかな報告、現場で														
	5	0204 市民要望や道路パトロ														
		O2O5 同一地域でまとめて発注することができたが、目標値を達成することができなかった。今後とも道路施設の適切な維持管理に努め 長寿命化を図る。														
Б		0206 道路反射鏡の基礎工								図:	た。					
		0201 月2回の定期パトロ-	-ルを市内全域で行	い、早期発	見・補修	多を行	うこと	がつ	できた。							
		0202 速やかな報告、現場で	確認及び業者依頼を	行い、適切	つな維持管	き理に	努める	こと	こができ	た。						
	R	O203 城ケ崎線舗装改良工できた。	事にて、延長L=13	4m、大室	入口線部	装改	良工事	にて	、延長	L=3	315m施	工を	を行い、	目標値を達成	成する	ることだ
		0204 市民要望や道路パトロ	コールなどにより発	見した危険	管所の割	怪備を	を行い、	目標	票値を達	成豆	すること	がて	できた。			

O205 無名橋10の改修工事を行ったが、目標を達成することができなかった。今後も道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。

O206 道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。

					指標数	2	2	2	2	2				
03 安全で快適な歩道空間の推進 I				達成状況	達成数	1	0	0	0	0				
				達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
	日標値 12 14 16 18 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日													
	03	301 の促進	ハリアクリー 10路	10路線	実績値	12	12	12	12		路線	建設課		
			אפאטוו	I OKONSK	評価	〇 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
		歩道のバリアフリー化	歩道のバリアフ	R1	目標値	100	100	100	100	100	%			
	03	302 に関する市民の声の把	リー化実施率	1000/	実績値	0	0	0	0		/0	建設課		
	The first content of the f													
年度		3 0302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかった。 0301 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。 0302 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。												
= 4	į R	O3O1 民地側において物理的に困難な箇所があり、バリアフリー化が進まない状況である。歩道のバリアフリー化の必要路線の調査を行い、歩道整備の推進を図っていく。												
	5	0302 歩道のバリアフリー(とに関する市民要望	はなかった	0									
伍														
	O301 歩道のバリアフリー化に関する市民要望はなかったが、今後も歩道のバリアフリー化の必要路線の調査検討を行い、歩道整備の 進を図っていく。											偏の推		
	6	0302 歩道のバリアフリー(とに関する市民要望	はなかった										